



# 第13回 定時社員総会・表彰式

2024 年 5 月 30 日

於 名古屋市中小企業振興会館

一般社団法人 日 本 ゴ ム 協 会

東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル

TEL. 03-3401-2957

URL : <https://www.srij.or.jp>

# 第13回定時社員総会・表彰式次第

一般社団法人日本ゴム協会

2024年5月30日（木）13：30～14：30

名古屋市中小企業振興会館

## ◎第13回定時社員総会

司会理事 鳥澤 浩司

### 1. 開会の辞

### 2. 議事議長

会長あいさつ 会長 網野 直也

第1号議案 2023年度収支決算書類承認の件 理事 岡本 正巳

2023年度監査報告 監事 小薬 次郎

（報告事項）

1. 2023年度事業報告の件 理事 河原 成元

2. 2024年度事業計画の件 理事 河原 成元

3. 2024年度収支予算の件 理事 岡本 正巳

第2号議案 IRC2026特別協賛金承認の件

理事 大月 正珠

第3号議案 名誉会員推戴の件 理事 櫻井 伸一

## \*.。.:\* 表彰式 \*.。.:\*

司会理事 近藤 新一

1. 名誉会員推戴 伊藤 眞義 氏

内山 吉隆 氏

### 2. 第36回日本ゴム協会賞審査報告

委員長 網野 直也

受賞業績：人とAIとの協奏によるデータ活用

(HAICoLab)の研究開発

受賞者：横浜ゴム株式会社 小石 正隆 氏

### 3. 第62回ゴム技術功績賞審査報告

委員長 松本 恭一

受賞者：山口 幸一 氏

### 4. 第71回優秀論文賞審査報告

委員長 渡邊 順司

受賞論文：有限要素法シミュレーションによるSBR  
/IRゴムブレンドにおけるフィラー分  
配とポリマー相構造がヤング率に及ぼ  
す影響に関する研究

山本亮太氏・糸見健氏・窪内翔氏・

森田淳氏・足立拓海氏・川井淳司氏・

富永哲雄氏・Lingyun Lyu氏・堀内伸氏・

森田裕史氏

### 5. 第34回オーエンスレーガー賞審査報告

委員長 原野 健一

研究題目：天然ゴムラテックスナノ粒子を応用し  
た生体コンポジットに関する研究

受賞者：豊田工業大学 岡本 正巳 氏

### 6. 第79回ゴム技術進歩賞審査報告

委員長 渡邊 智子

研究課題：加硫エネルギー最小で圧縮永久ひずみ  
の小さいEPDM材料

受賞者：鬼怒川ゴム工業株式会社

原田 倫宏 氏

### 7. 第16回日本ゴム協会科学技術奨励賞審査報告

委員（日本ゴム協会会長） 網野 直也

研究の名称：基板界面近傍の高分子ナノ構造解析

受賞者：名古屋工業大学大学院

山本 勝宏 氏

### 8. 第15回ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞

委員長 山本 勝宏

フロンティア賞

研究の名称：新規硫黄ポリマーゴム合成技術の確  
立と機能性材料の創製

受賞者：大阪大学大学院 小林裕一郎 氏

奨励賞

研究の名称：実環境で生じるゴムのオゾン劣化メ  
カニズムの解明及び劣化評価法の国  
際標準化

受賞者：一般財団法人化学物質評価研究機構

岩瀬 由佳 氏

研究の名称：重合誘起自己組織化によるゲル化過  
程の解明と材料開発

受賞者：名古屋大学大学院 高橋倫太郎 氏

### 9. 第34回エラストマー討論会第32回CERI最優秀発表論文賞

研究の名称：サステナブル材料としての新規エチ  
レン系熱可塑性エラストマー

受賞者：株式会社ブリヂストン

会田昭二郎 氏

株式会社ブリヂストン

高野 重永 氏

株式会社ブリヂストン

石上 淳一 氏

株式会社ブリヂストン

佐藤 愛理 氏

東京工業大学

中嶋 健 氏

# 2023年度事業報告

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

## 一般社団法人日本ゴム協会

### I. 事業の状況

#### 1. 学術及び生産技術の研究及び調査 (定款第4条第1号)

##### (1) 2023年年次大会 (第12回定時社員総会)

日時 2023年5月30日 (火)・31日 (水)

会場 兵庫県民会館

総会出席者 (代理行使を含む) 49名

研究発表74件 (うち若手発表18件) 登録者数234名

##### (2) 第34回エラストマー討論会

日時 2023年12月4日 (月)・5日 (火)

会場 機械振興会館

研究発表66件 (うち若手発表37件) 登録者数198名

#### 2. 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第4条第2号)

##### (1) 研究部会

13の研究分科会において、定期的に研究会を開催し、最新の課題について調査・研究・討論を行った。

##### (2) 顕彰関係

当該各委員会において各賞受賞者の選考と推薦を行った。

#### 3. 講演会の開催 (定款第4条第3号)

##### (1) 第57回夏期講座 テーマ: 基盤技術を活用した次世代ゴム・エラストマーの創出

日時 2023年8月3日 (木)・4日 (金)

会場 下呂温泉水明館とオンライン併用のハイブリッド開催 参加者65名

(2) 研究分科会において得られた専門的成果に基づいて、会員ならびに一般ゴム科学技術者の研鑽に資するため、分科会主催のシンポジウム・力学入門コース計10回を開催した。

(3) 各支部では、毎月適切なテーマをとりあげて講演会、講習会、セミナー等を開催した。各支部の行事数は下記のとおりである。

関東支部 講習会2回、講演会2回、紹介講演会1回、セミナー2回、見学会1回、交流会1回

東海支部 講習会1回、講演会3回、紹介講演会1回、見学会1回、セミナー1回

関西支部 講習会1回、講演会5回、紹介講演会1回、サタデーセミナー6回、見学会1回、

交流会1回、若手セミナー5回

九州支部 講演会2回、事例発表会1回、交流会2回

#### 4. 会誌及び図書の刊行 (定款第4条第4号)

##### (1) 日本ゴム協会誌の発行

2023年において会員へのゴム技術情報提供及び学術推進のための機関誌「日本ゴム協会誌」第96巻12冊 (普通号7冊, 特集号5冊) を定期的に発行した。論文や総説等で276頁, 会告で494頁, 年間総頁数が770頁であった。

なお、発行において以下の企画を推進した。

①ゴム技術を中心に周辺技術やソフトマテリアル材料に関するタイムリーな情報を提供した。

②今日的なテーマ及びゴム固有のテーマ等で研究部会の協力も得て、特集を定期的に組んだ。

③わが国で編集発行するゴム技術論文誌として、高いレベルで審査、発行した。

④年次大会及びエラストマー討論会の研究発表やIRC, IRCC, あるいはISO/TC45国際会議などの海外におけるソフトマテリアル関連の参加記を掲載し、会員への情報提供に努めた。

##### (2) 出版関係

電子ジャーナル(e-Journal of Soft Materials), eJSM Vol. 19 (2023) の原著論文はなかった。

#### 5. 見学及び視察 (定款第4条第5号)

##### (1) 国際交流

IRC2023Chinaに代表派遣は行われなかった。

(2) 各支部で会員ならびに一般ゴム科学技術者の資質向上を目的に見学会を行った。

#### 6. 会員の交流 (定款第4条第6号)

##### (1) 会員活動の充実と会員増強

関係各位ならびに各支部の協力により入会の勧誘を行った。

#### 7. 関係官庁及び関係団体等の諮問に対する答申又は建議 (定款第4条第7号)

(1) 研究部会では必要に応じて関係官庁及び関連団体の諮問に応じた。

(2) ゴム及びゴム製品に係る標準化活動

## 1. 国際標準開発全般

「日本のゴム関連企業の有する優れた技術と高い品質 (Japan Quality) を示すことができ、日本製品の優位性を見える化する。」ことを命題として規格開発を戦略的に進めた。特に、重要テーマである「揮発性硫黄ガスの定量方法」については、新規案件 (NP) 投票の結果、必要な5か国を上回り、日本含めて7か国の積極的参加を得、また国際会議での有用な意見を得て、CDステージに進む事ができた。併せて、日本提案の改訂案件として「ゴム用配合剤－有機薬品－略語」(TC45/WG10)も、DIS投票後の国際会議で、FDISをスキップして直接発行が認められた。その他の改訂案件含め、何れもそれぞれの計画に沿って確実に実施し、成果報告に繋げることができた。

- ① ISO開発：本年度TC45からは27件の規格が発行され、その内「R1234yf冷媒用低振動伝達ホース」などの8件が日本提案である。継続する重点テーマとして「気象用バルーン」、「揮発性硫黄ガスの定量方法」と「引布の吸水性試験法」の規格開発に注力した。また、日本品質の見える化/格差付けを狙った継続案件8件、本年度から新規に開始した規格11件を中心に確実にISO発行あるいは次の段階へ進展させた。更に、定期見直し74件の審議を行なった。実施に当っては国内での戦略的な審議を踏まえ、4年ぶりの対面会議となったタイ・バンコクでのISO国際会議への積極的な参加と提言、更に関係官庁及び関係団体の諮問に対する答申・連絡を心がけた。
- ② JIS開発：「引張特性の求め方」「有機薬品－略語」など3件のJISが発行された。本年度は29件の定期見直しを行った。更に「ホース及びホースアセンブリの耐圧性」など3件のJIS原案を作成し、提出する事ができた。
- ③ 国際会議：タイ・バンコクで4年ぶりの対面会議開催だった。日本は、総勢31名で開催されたすべてのワーキンググループ会議に出席し、審議案件についての意見を発信し、ISO規格発行及びステージアップに貢献した。また、優れた日本の技術を標準化して行く「揮発性硫黄ガスの定量方法」(SC2/WG5)のNP投票で提示された有用な種々のコメントに対する方針を説明し、CDステージに進む合意を得た。その他、日本の改訂案件として「気象用バルーン」(SC4/WG5)や「引布の吸水性試験法」(SC4/WG13)についての投票時コメントへの対応方針を説明し、次のステージに進む事が、承認さ

れた。

2. 新規テーマ創出：継続して、「日本のゴム関連企業の有する優れた技術と高い品質 (Japan Quality) を示すことができ、日本製品の優位性を見える化する。」為の規格化テーマの創出を引続き行っている。既に、「高圧ガス用ホースの耐久性評価方法」や「加硫再生ゴムの評価方法」、「土壌・堆積物中のタイヤ・道路摩耗粉塵の定量方法」として、JIS開発1件とISO規格化2件の計3件を新規開発テーマとして申請している。
3. 委員会構成、人材面：前年度と同様に、ISO/TC45国内審議委員会活動の為の14分科会の体制で実施した。事務局は従来の体制で継続した。
4. 関連団体との連携強化：友好団体はもとより、自動車技術会、プラスチック工業連盟、日本試験機工業会、日本溶接協会、日本産業機械工業会、水素供給利用技術研究協会、日本エルピーガス供給機器工業会、日本寝装寝具協会、日本免震構造協会、建築ガスケット協会等との関係を強化し、ISO/TC45関連の標準化活動を更に連携した活動として実施した。特にシリコン工業会や合成ゴム工業会更には日本グローブ工業会と連携し、中国提案の新規ISO案件の国内産業への影響を検討し、投票案に結びつけた。
8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第8号)
  - (1) 日本語版ホームページは定期的なメンテナンスにより、会員及び会員外への最新情報を発信できる体制を強化した。
  - (2) メールマガジンを定期的に配信した。
  - (3) 2021年度に導入したSMMS会員管理システムを用いて会員サービスを順次拡大中である。
  - (4) 活性化策として、支部・本部合同の活動として三大行事の活性化活動を展開中である。

## Ⅱ. 処務の概況

### ① 役員に関する事項

理事 定数：15名以上20名以内 現在：20名 任期：2年

監事 定数：1名以上 3名以内 現在：3名 任期：2年

職名	氏名	現職
理事(会長)	網野 直也	横浜ゴム株式会社
理事(副会長)	大月 正珠	株式会社ブリヂストン
理事(副会長)	河原 成元	長岡技術科学大学
理事(副会長)	岡本 正巳	豊田工業大学
理事(副会長)	櫻井 伸一	京都工芸繊維大学
理事	加藤 進一	株式会社加藤事務所
理事	菊池 裕	興国インテック株式会社
理事	中嶋 健	東京工業大学
理事	山岸 英哲	日本ゼオン株式会社
理事	山崎 聡	三井化学株式会社
理事	渡邊 智子	一般財団法人化学物質評価研究機構
理事	近藤 新一	西武ポリマ化成株式会社
理事	鳥澤 浩司	東海興業株式会社
理事	山本 勝宏	名古屋工業大学
理事	菊地 尚彦	住友ゴム工業株式会社
理事	北川 紀樹	株式会社大阪ソーダ
理事	原野 健一	株式会社アシックス
理事	松本 恭一	中西金属工業株式会社
理事	渡邊 順司	甲南大学
理事	渡邊 勝宏	久留米工業高等専門学校
監事	小薬 次郎	鬼怒川ゴム工業株式会社
監事	長谷 朝博	産業技術総合研究所
監事	村上 裕人	長崎大学

### ② 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	人数・無給者	他機関との兼任者	備考
事務局長	常勤	1名・0名	0名	
職員	常勤	3名・0名	0名	

### ③ 会議等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2023年4月26日	2023年度第1回理事会 審議事項 (1)2022年度組織図・2023年度活動方針・事業計画の件 (2)2022年度1・2・3月度会員移動の件 (3)2022年度事業報告・収支決算の件 (4)2023年度事業計画・収支予算の件 (5)各委員会活動の件 報告事項・その他 (6)顕彰関連 (7)研究部会幹事・主査会開催の件 (8)標準化部門活動の件 (9)2023年年次大会(第12回定時社員総会)開催の件 (10)第57回夏期講座開催の件 (11)第34回エラストマー討論会開催の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
2023年8月2日	2023年度第2回理事会 審議事項 (1)2023年度組織図・活動方針・事業計画の件 (2)2023年度4・5・6月度会員移動の件 (3)各委員会活動の件 報告事項・その他 (4)各支部事業計画及び予算の件 (5)2023年年次大会(第12回定時社員総会)開催報告 (6)第57回夏期講座開催の件 (7)第34回エラストマー討論会開催の件 (8)IRC2026の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

2023年10月27日	2023年度第3回理事会 審議事項 (1)2023年度組織図・活動方針・事業計画の件 (2)2023年度7・8・9月度会員移動の件 (3)各委員会活動の件 (4)新領域研究グループの制定 報告事項・その他 (5)財務部門報告の件 (6)第57回夏期講座開催報告 (7)第34回エラストマー討論会開催の件 (8)2024年年次大会(第13回定時社員総会)開催の件 (9)顕彰関連の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
2024年1月30日	2023年度第4回理事会 審議事項 (1)2022年度組織図・活動方針・事業計画の件 (2)2023年度10・11・12月度会員移動の件 (3)12月度収支決算報告の件 (4)2023年度事業報告(案)の件 (5)2024年度事業計画(案)の件 (6)2023年度第1回組織委員会規定見直しの件 (7)2023年度第1回優秀論文賞推薦委員会の件 報告事項・その他 (8)各委員会活動の件 (9)顕彰部門活動の件 (10)【ゴムおよびゴム製器具・容器包装の製造管理に関する検討会】食品用ゴムの原材料調査の件 (11)第34回エラストマー討論会開催報告 (12)2024年年次大会(第13回定時社員総会)開催の件 (13)第58回夏期講座開催の件 (14)研究部会活動の件 (15)IRC2026開催予定の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

#### (2) 第12回定時社員総会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2023年5月30日	第1号議案 2022年度収支決算書類承認の件 2022年度監査報告 報告事項 1. 2022年度事業報告の件 2. 2023年度事業計画の件 3. 2023年度収支予算の件 第2号議案 名誉会員推薦の件 第3号議案 2023年・2024年度役員選任の件	全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認 全会一致にて承認

④ 認可、承認、証明に関する事項 該当なし

⑤ 契約に関する事項 //

⑥ 寄付金に関する事項 //

⑦ その他の重要事項 //

⑧ 会員の異動状況(下表の通り) 該当あり

#### 社員・会員別入退会表

会員種別	前年度末	本年度入会	本年度退会	現会員数	増減
正会員	1,403名	103名	192名	1,314名	△89名
学生会員	112名	37名	38名	111名	△1名
名誉会員	14名	1名	2名	13名	△1名
賛助会員 社数	388社	12社	11社	389社	1社
口数	706口	13口	22口	697口	△9口
計	1,917	153	243	1,827	△90

# 2023年度決算報告

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

## 貸借対照表総括表

2024年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	46,443,207	5,409	20,183,857	0	66,632,473
現金	508,462	0	239,831	0	748,293
定期預金	3,030,886	0	3,015,637	0	6,046,523
普通預金	37,004,962	5,409	16,928,389	0	53,938,760
振替貯金	1,577,212	0	0	0	1,577,212
郵便貯金	1,321,685	0	0	0	1,321,685
定額貯金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
未収入金	2,612,600	2,844,641	0	-3,674,696	1,782,545
在庫商品	0	0	680,595	0	680,595
貯蔵品	0	800,800	0	0	800,800
立替金	0	0	0	0	0
前払費用	0	0	68,808	0	68,808
仮払金	1,219,292	0	116,165	0	1,335,457
流動資産合計	50,275,099	3,650,850	21,049,425	-3,674,696	71,300,678
2. 固定資産					0
(1) 基本財産					0
基本財産引当預金	5,000,000	0	0	0	5,000,000
基本財産合計	5,000,000	0	0	0	5,000,000
(2) 特定資産					0
退職積立預金	2,899,065	0	0	0	2,899,065
国際会議基金	18,264,232	0	0	0	18,264,232
国際交流基金	13,238,833	0	0	0	13,238,833
日本ゴム協会賞基金	4,423,940	0	0	0	4,423,940
ゴム技術功績賞基金	2,128,976	0	0	0	2,128,976
ゴム科学技術奨励金基金	2,178,990	0	0	0	2,178,990
オーエンスレーガー賞基金	217,420	0	0	0	217,420
特定資産合計	43,351,456	0	0	0	43,351,456
(3) その他固定資産					0
什器備品	134,700	0	0	0	134,700
電話加入権	0	0	42,000	0	42,000
事務所保証金	1,200,000	0	0	0	1,200,000
その他固定資産合計	1,334,700	0	42,000	0	1,376,700
固定資産合計	49,686,156	0	42,000	0	49,728,156
資産合計	99,961,255	3,650,850	21,091,425	-3,674,696	121,028,834
II 負債の部					0
1. 流動負債					0
未払金	4,206,240	0	885,000	-3,674,696	1,416,544
会費前受金	30,271,820	0	0	0	30,271,820
仮受金	2,003,761	0	1,922,500	0	3,926,261
流動負債合計	36,481,821	0	2,807,500	-3,674,696	35,614,625
2. 固定負債					0
退職給付引当金	4,408,174	397,985	0	0	4,806,159
固定負債合計	4,408,174	397,985	0	0	4,806,159
負債合計	40,889,995	397,985	2,807,500	-3,674,696	40,420,784
III 正味財産の部					0
1. 指定正味財産					0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	59,071,260	3,252,865	18,283,925	0	80,608,050
(うち基本財産への充当額)	5,000,000	0	0	0	5,000,000
(うち特定資産への充当額)	40,452,391	0	0	0	40,452,391
正味財産合計	59,071,260	3,252,865	18,283,925	0	80,608,050
負債及び正味財産合計	99,961,255	3,650,850	21,091,425	-3,674,696	121,028,834

# 正味財産増減計算書総括表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	100	0	0	0	100
基本財産運用益	100	0	0	0	100
特定資産運用益	719	0	0	0	719
受取入金	75,000	0	0	0	75,000
入金	75,000	0	0	0	75,000
受取会費	37,420,850	0	0	0	37,420,850
賛助会費	25,171,900	0	0	0	25,171,900
正会費	11,879,950	0	0	0	11,879,950
学生会費	369,000	0	0	0	369,000
事業収益	34,835,452	1,795,127	21,928,260	-7,638,516	50,920,323
広告料収益	10,674,400	0	0	0	10,674,400
会員外購読料収益	826,490	0	0	0	826,490
バックナンバー収益	49,066	0	0	0	49,066
本部行事収益	8,212,590	0	0	0	8,212,590
年次大会収益	3,047,700	0	0	0	3,047,700
夏期講座収益	2,751,690	0	0	0	2,751,690
討論会収益	2,413,200	0	0	0	2,413,200
研究部会収益	8,943,900	0	0	0	8,943,900
委員参加収益	3,021,700	0	0	0	3,021,700
行事収益	5,922,200	0	0	0	5,922,200
出版物収益	0	1,653,098	178,000	0	1,831,098
ゴム技術基礎収益	0	1,056,161	0	0	1,056,161
ゴム用語辞典収益	0	569,415	0	0	569,415
ゴム技術入門収益	0	27,522	0	0	27,522
免震ハンドブック	0	0	0	0	0
東海支部	0	0	178,000	0	178,000
印税収益	0	142,029	0	0	142,029
業務受託収益	5,885,356	0	0	-5,885,356	0
交付金収益	0	0	1,653,160	-1,653,160	0
講演会収益	0	0	4,387,600	-100,000	4,287,600
講習会収益	0	0	10,927,600	0	10,927,600
見学会収益	0	0	876,700	0	876,700
セミナー収益	0	0	3,228,200	0	3,228,200
交流会収益	0	0	330,000	0	330,000
会議費収益	0	0	347,000	0	347,000
別刷り代収益	243,650	0	0	0	243,650
60周年記念式典収益	0	0	0	0	0
受取寄付金	1,680,000	0	0	0	1,680,000
雑収益	608,549	116,794	4,948	0	730,291
雑収益	608,549	116,794	4,948	0	730,291
経常収益計	74,620,670	1,911,921	21,933,208	-7,638,516	90,827,283
(2) 経常費用					0
事業費	46,329,959	2,742,974	23,687,106	-7,638,516	65,121,523
会議費	1,277,573	0	2,205,842	0	3,483,415
表彰費	2,088,950	0	0	0	2,088,950
普及費	4,669,187	0	0	0	4,669,187
旅費交通費	468,580	0	437,133	0	905,713
通信費	397,412	0	546,655	0	944,067
印刷費	209,000	0	39,600	0	248,600
支部費	1,753,160	0	0	-1,753,160	0
本部行事費	6,518,677	0	0	0	6,518,677
年次大会費	2,264,294	0	0	0	2,264,294
夏期講座費	2,010,208	0	0	0	2,010,208
討論会費	2,244,175	0	0	0	2,244,175
雑誌費	14,710,210	0	0	0	14,710,210
編集費	4,210,926	0	0	0	4,210,926
印刷費	7,562,486	0	0	0	7,562,486
発送費	2,495,298	0	0	0	2,495,298
原稿料	441,500	0	0	0	441,500
研究部会費	2,402,381	0	0	0	2,402,381
会議費	1,038,293	0	0	0	1,038,293
行事費	1,364,088	0	0	0	1,364,088
出版費	0	329,676	0	0	329,676
事務所費	0	264,839	0	0	264,839
事務費	0	64,837	0	0	64,837

# 正味財産増減計算書総括表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
書籍購入費	0	748,632	0	0	748,632
国際交流費	200,000	0	0	0	200,000
国際会議費	104,835	0	0	0	104,835
人件費	11,529,994	1,313,810	9,630,794	-5,000,356	17,474,242
給料手当	9,683,326	1,103,385	9,630,794	-5,000,356	15,417,149
厚生費	1,313,075	149,618	0	0	1,462,693
通勤費	244,830	27,903	0	0	272,733
中退共済掛金	172,188	19,620	0	0	191,808
退職給付費用	116,575	13,284	0	0	130,859
講演会費	0	0	2,926,849	0	2,926,849
講習会費	0	0	2,882,041	0	2,882,041
見学会費	0	0	147,602	0	147,602
セミナー費	0	0	1,408,218	0	1,408,218
交流会費	0	0	424,423	0	424,423
消耗品費	0	0	148,177	0	148,177
事務所費	0	0	1,567,559	-885,000	682,559
書籍代	0	0	240,240	0	240,240
公租公課	0	350,416	70,007	0	420,423
60周年記念式典費用	0	0	334	0	334
雑費	0	440	1,011,632	0	1,012,072
管理費	22,753,803	0	0	0	22,753,803
会議費	478,400	0	0	0	478,400
旅費交通費	217,233	0	0	0	217,233
通信費	861,820	0	0	0	861,820
消耗品費	456,261	0	0	0	456,261
事務所費	4,596,223	0	0	0	4,596,223
事務費	1,124,743	0	0	0	1,124,743
雑費	2,586,693	0	0	0	2,586,693
人件費	11,276,967	0	0	0	11,276,967
給料手当	9,458,601	0	0	0	9,458,601
厚生費	1,297,158	0	0	0	1,297,158
通勤費	239,147	0	0	0	239,147
中退共済掛金	168,192	0	0	0	168,192
退職給付費用	113,869	0	0	0	113,869
公租公課	1,046,658	0	0	0	1,046,658
減価償却費	108,805	0	0	0	108,805
経常費用計	69,083,762	2,742,974	23,687,106	-7,638,516	87,875,326
評価損益等調整前当期経常増減額	5,536,908	-831,053	-1,753,898	0	2,951,957
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	5,536,908	-831,053	-1,753,898	0	2,951,957
2. 経常外増減の部					0
(1) 経常外収益					0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	5,536,908	-831,053	-1,753,898	0	2,951,957
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,536,908	-831,053	-1,753,898	0	2,951,957
一般正味財産期首残高	53,534,352	4,083,918	20,037,823	0	77,656,093
一般正味財産期末残高	59,071,260	3,252,865	18,283,925	0	80,608,050
II 指定正味財産増減の部					0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	59,071,260	3,252,865	18,283,925	0	80,608,050

## 収支計算書総括表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
<b>I 事業活動収支の部</b>					
<b>1. 事業活動収入</b>					
基本財産運用収入	100	0	0	0	100
基本財産運用収入	100	0	0	0	100
特定資産運用収入	93	0	0	0	93
入会金収入	75,000	0	0	0	75,000
入会金収入	75,000	0	0	0	75,000
会費収入	37,420,850	0	0	0	37,420,850
賛助会費収入	25,171,900	0	0	0	25,171,900
正会費収入	11,879,950	0	0	0	11,879,950
学生会費収入	369,000	0	0	0	369,000
事業収入	34,835,452	1,795,127	21,928,260	-7,638,516	50,920,323
広告料収入	10,674,400	0	0	0	10,674,400
会員外購読料収入	826,490	0	0	0	826,490
バックナンバー収入	49,066	0	0	0	49,066
本部行事収入	8,212,590	0	0	0	8,212,590
年次大会収入	3,047,700	0	0	0	3,047,700
夏期講座収入	2,751,690	0	0	0	2,751,690
討論会収入	2,413,200	0	0	0	2,413,200
研究会収入	8,943,900	0	0	0	8,943,900
委員参加収入	3,021,700	0	0	0	3,021,700
行事収入	5,922,200	0	0	0	5,922,200
出版物収入	0	1,653,098	178,000	0	1,831,098
ゴム技術基礎収入	0	1,056,161	0	0	1,056,161
ゴム用語辞典収入	0	569,415	0	0	569,415
ゴム技術入門収入	0	27,522	0	0	27,522
免震ハンドブック	0	0	0	0	0
東海支部	0	0	178,000	0	178,000
印税収入	0	142,029	0	0	142,029
業務受託収入	5,885,356	0	0	-5,885,356	0
交付金収入	0	0	1,653,160	-1,653,160	0
講演会収入	0	0	4,387,600	-100,000	4,287,600
講習会収入	0	0	10,927,600	0	10,927,600
見学会収入	0	0	876,700	0	876,700
セミナー収入	0	0	3,228,200	0	3,228,200
交流会収入	0	0	330,000	0	330,000
会議費収入	0	0	347,000	0	347,000
別刷り代收収入	243,650	0	0	0	243,650
60周年記念式典収入	0	0	0	0	0
寄付金収入	1,680,000	0	0	0	1,680,000
雑収入	608,549	116,794	4,948	0	730,291
雑収入	608,549	116,794	4,948	0	730,291
他会計からの繰入額	0	0	0	0	0
<b>事業活動収入計</b>	<b>74,620,044</b>	<b>1,911,921</b>	<b>21,933,208</b>	<b>-7,638,516</b>	<b>90,826,657</b>
<b>2. 事業活動支出</b>					
事業費支出	46,213,384	2,616,308	23,687,106	-7,638,516	64,878,282
会議費支出	1,277,573	0	2,205,842	0	3,483,415
表彰費支出	2,088,950	0	0	0	2,088,950
普及費支出	4,669,187	0	0	0	4,669,187
旅費交通費支出	468,580	0	437,133	0	905,713
通信費支出	397,412	0	546,655	0	944,067
印刷費支出	209,000	0	39,600	0	248,600
支部費支出	1,753,160	0	0	-1,753,160	0
本部行事費支出	6,518,677	0	0	0	6,518,677
年次大会費支出	2,264,294	0	0	0	2,264,294
夏期講座費支出	2,010,208	0	0	0	2,010,208
討論会費支出	2,244,175	0	0	0	2,244,175
雑誌費支出	14,710,210	0	0	0	14,710,210
編集費支出	4,210,926	0	0	0	4,210,926
印刷製本費支出	7,562,486	0	0	0	7,562,486
発送費支出	2,495,298	0	0	0	2,495,298
原稿料支出	441,500	0	0	0	441,500
研究会会費支出	2,402,381	0	0	0	2,402,381
会議費支出	1,038,293	0	0	0	1,038,293
行事費支出	1,364,088	0	0	0	1,364,088
国際交流費支出	200,000	0	0	0	200,000
国際会議費支出	104,835	0	0	0	104,835
出版費支出	0	329,676	0	0	329,676

## 収支計算書総括表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
印刷費支出	0	0	0	0	0
事務所費支出	0	264,839	0	0	264,839
事務費支出	0	64,837	0	0	64,837
書籍購入費支出	0	635,250	0	0	635,250
人件費支出	11,413,419	1,300,526	9,630,794	-5,000,356	17,344,383
給料手当支出	9,683,326	1,103,385	9,630,794	-5,000,356	15,417,149
福利厚生費支出	1,313,075	149,618	0	0	1,462,693
通勤費支出	244,830	27,903	0	0	272,733
中退掛金支出	172,188	19,620	0	0	191,808
退職金支出	0	0	0	0	0
講演会費支出	0	0	2,926,849	0	2,926,849
講習会費支出	0	0	2,882,041	0	2,882,041
見学会費支出	0	0	147,602	0	147,602
セミナー費支出	0	0	1,408,218	0	1,408,218
交流会費支出	0	0	424,423	0	424,423
消耗品費支出	0	0	148,177	0	148,177
事務所費支出	0	0	1,567,559	-885,000	682,559
書籍代支出	0	0	240,240	0	240,240
公租公課支出	0	350,416	70,007	0	420,423
60周年記念式典支出	0	0	334	0	334
雑支出	0	440	1,011,632	0	1,012,072
他会計への繰出額	0	0	0	0	0
管理費支出	22,531,129	0	0	0	22,531,129
会議費支出	478,400	0	0	0	478,400
旅費交通費支出	217,233	0	0	0	217,233
通信費支出	861,820	0	0	0	861,820
消耗品費支出	456,261	0	0	0	456,261
事務所費支出	4,596,223	0	0	0	4,596,223
事務費支出	1,124,743	0	0	0	1,124,743
雑支出	2,586,693	0	0	0	2,586,693
人件費支出	11,163,098	0	0	0	11,163,098
給料手当支出	9,458,601	0	0	0	9,458,601
福利厚生費支出	1,297,158	0	0	0	1,297,158
通勤費支出	239,147	0	0	0	239,147
中退掛金支出	168,192	0	0	0	168,192
退職金支出	0	0	0	0	0
公租公課支出	1,046,658	0	0	0	1,046,658
事業活動支出計	68,744,513	2,616,308	23,687,106	-7,638,516	87,409,411
事業活動収支差額	5,875,531	-704,387	-1,753,898	0	3,417,246
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入	2,647,559	0	0	0	2,647,559
退職積立基金	0	0	0	0	0
国際会議基金	2,047,729	0	0	0	2,047,729
国際交流基金	200,880	0	0	0	200,880
日本ゴム協会賞基金	98,950	0	0	0	98,950
日本ゴム功績賞基金	100,000	0	0	0	100,000
ゴム科学技術奨励金基金	200,000	0	0	0	200,000
投資活動収入計	2,647,559	0	0	0	2,647,559
2. 投資活動支出					
固定資産取得支出	0	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	2,647,559	0	0	0	2,647,559
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
当期収支差額	8,523,090	-704,387	-1,753,898	0	6,064,805
前期繰越収支差額	5,270,188	3,554,437	19,995,823	0	28,820,448
次期繰越収支差額	13,793,278	2,850,050	18,241,925	0	34,885,253

# 財産目録

2024年 3月31日現在

一般社団法人 日本ゴム協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	66,632,473		
現金手許有高	748,293		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	3,030,886		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店(関東)	1,009,748		
定期預金 名古屋銀行 川原通支店(東海)	2,005,889		
普通預金 みずほ銀行 虎ノ門支店	7,695,797		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	21,933,266		
普通預金 三菱UFJ銀行 本店	7,375,899		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店(収益)	5,409		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店(関東)	3,704,935		
普通預金 三菱UFJ銀行 今池支店(東海)	3,275,566		
普通預金 名古屋銀行 川原通支店(東海)	759,958		
普通預金 三井住友銀行 鶴橋支店(関西)	6,051,567		
振替口座 ゆうちょ銀行	1,577,212		
通常貯金 ゆうちょ銀行	1,321,685		
通常貯金 ゆうちょ銀行(九州)	3,136,363		
定額貯金 ゆうちょ銀行	3,000,000		
未収入金	1,782,545		
在庫商品	680,595		
貯蔵品	800,800		
立替金	0		
前払費用	68,808		
仮払金	1,335,457		
流動資産合計		71,300,678	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金			
定期預金 三菱UFJ銀行 本店	5,000,000		
基本財産合計	5,000,000		
(2) 特定資産			
退職積立預金	2,899,065		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	2,899,065		
国際会議基金	18,264,232		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	200,620		
定期預金 みずほ銀行 虎ノ門支店	10,005,261		
普通預金 みずほ銀行 虎ノ門支店 (IRC組織)	3,212,796		
普通預金 みずほ銀行 虎ノ門支店 (IRC展示会)	4,628,087		
現金 (IRC)	217,468		
国際交流基金	13,238,833		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	10,177,933		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	3,060,900		
日本ゴム協会賞基金	4,423,940		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	1,482,303		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	2,941,637		
ゴム技術功績賞基金	2,128,976		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	793,367		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	1,335,609		

# 財産目録

2024年 3月31日現在

一般社団法人 日本ゴム協会

(単位：円)

科 目	金 額		
ゴム科学技術奨励金基金	2,178,990		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	597,293		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	1,581,697		
オーエンスレーガー賞基金	217,420		
普通預金 三井住友銀行 日比谷支店	76,011		
定期預金 三井住友銀行 日比谷支店	141,409		
特定資産合計	43,351,456		
(3) その他固定資産			
什器備品	134,700		
電話加入権	42,000		
事務所保証金	1,200,000		
その他固定資産合計	1,376,700		
固定資産合計		49,728,156	
資産合計			121,028,834
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,416,544		
会費前受金	30,271,820		
仮受金	3,926,261		
流動負債合計		35,614,625	
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,806,159		
固定負債合計		4,806,159	
負債合計			40,420,784
正味財産			80,608,050

# 貸借対照表

2024年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	46,443,207	41,031,446	5,411,761
現金	508,462	293,687	214,775
定期預金	3,030,886	3,030,835	51
普通預金	37,004,962	28,448,156	8,556,806
振替貯金	1,577,212	4,937,095	-3,359,883
郵便貯金	1,321,685	1,321,673	12
定額貯金	3,000,000	3,000,000	0
未収入金	2,612,600	1,808,310	804,290
仮払金	1,219,292	404,100	815,192
流動資産合計	50,275,099	43,243,856	7,031,243
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職積立預金	2,899,065	2,899,016	49
国際会議基金	18,264,232	20,311,659	-2,047,427
国際交流基金	13,238,833	13,439,574	-200,741
日本ゴム協会賞基金	4,423,940	4,522,827	-98,887
ゴム技術功績賞基金	2,128,976	2,228,936	-99,960
ゴム科学技術奨励金基金	2,178,990	2,378,960	-199,970
オーエンスレーガー賞基金	217,420	217,417	3
特定資産合計	43,351,456	45,998,389	-2,646,933
(3) その他固定資産			
什器備品	134,700	243,505	-108,805
事務所保証金	1,200,000	1,200,000	0
その他固定資産合計	1,334,700	1,443,505	-108,805
固定資産合計	1,334,700	1,443,505	-108,805
資産合計	99,961,255	95,685,750	4,275,505
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,206,240	4,627,065	-420,825
会費前受金	30,271,820	31,005,405	-733,585
仮受金	2,003,761	2,341,198	-337,437
流動負債合計	36,481,821	37,973,668	-1,491,847
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,408,174	4,177,730	230,444
固定負債合計	4,408,174	4,177,730	230,444
負債合計	40,889,995	42,151,398	-1,261,403
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	40,452,391	43,099,373	-2,646,982
正味財産合計	59,071,260	53,534,352	5,536,908
負債及び正味財産合計	99,961,255	95,685,750	4,275,505

# 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

一般社団法人 日本ゴム協会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	100	100	0
基本財産運用益	100	100	0
特定資産運用益	719	802	-83
受取入金	75,000	73,000	2,000
入会金	75,000	73,000	2,000
受取会費	37,420,850	37,816,350	-395,500
賛助会費	25,171,900	25,001,600	170,300
正会費	11,879,950	12,484,000	-604,050
学生会費	369,000	330,750	38,250
事業収益	34,835,452	27,597,327	7,238,125
広告料収益	10,674,400	10,498,400	176,000
会員外購読料収益	826,490	701,680	124,810
バックナンバー収益	49,066	2,880	46,186
本部行事収益	8,212,590	6,139,852	2,072,738
年次大会収益	3,047,700	2,209,302	838,398
夏期講座収益	2,751,690	1,676,450	1,075,240
討論会収益	2,413,200	2,254,100	159,100
研究部会収益	8,943,900	5,782,750	3,161,150
委員参加収益	3,021,700	2,766,900	254,800
行事収益	5,922,200	3,015,850	2,906,350
業務受託収益	5,885,356	3,767,655	2,117,701
別刷り代収益	243,650	704,110	-460,460
受取寄付金	1,680,000	1,320,000	360,000
雑収益	608,549	208,662	399,887
雑収益	608,549	208,662	399,887
経常収益計	74,620,670	67,016,241	7,604,429
(2) 経常費用			
事業費	46,329,959	39,321,189	7,008,770
会議費	1,277,573	413,021	864,552
表彰費	2,088,950	1,439,600	649,350
普及費	4,669,187	4,396,004	273,183
旅費交通費	468,580	92,136	376,444
通信費	397,412	440,035	-42,623
印刷費	209,000	195,800	13,200
支部費	1,753,160	1,702,920	50,240
本部行事費	6,518,677	3,771,169	2,747,508
年次大会費	2,264,294	950,027	1,314,267
夏期講座費	2,010,208	1,173,577	836,631
討論会費	2,244,175	1,647,565	596,610
雑誌費	14,710,210	14,565,604	144,606
編集費	4,210,926	3,288,910	922,016
印刷費	7,562,486	8,323,279	-760,793
発送費	2,495,298	2,465,145	30,153
原稿料	441,500	488,270	-46,770
研究部会費	2,402,381	1,773,668	628,713
会議費	1,038,293	755,227	283,066

# 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

一般社団法人 日本ゴム協会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
行事費	1,364,088	1,018,441	345,647
国際交流費	200,000	200,000	0
国際会議費	104,835	92,600	12,235
人件費	11,529,994	10,238,632	1,291,362
給料手当	9,683,326	8,308,670	1,374,656
厚生費	1,313,075	1,368,194	-55,119
通勤費	244,830	288,677	-43,847
中退共済掛金	172,188	172,188	0
退職給付費用	116,575	100,903	15,672
管理費	22,753,803	23,108,246	-354,443
会議費	478,400	398,340	80,060
旅費交通費	217,233	292,516	-75,283
通信費	861,820	1,301,744	-439,924
消耗品費	456,261	630,494	-174,233
事務所費	4,596,223	4,448,110	148,113
事務費	1,124,743	896,488	228,255
雑費	2,586,693	2,635,060	-48,367
人件費	11,276,967	10,741,723	535,244
給料手当	9,458,601	8,878,628	579,973
厚生費	1,297,158	1,314,364	-17,206
通勤費	239,147	281,978	-42,831
中退共済掛金	168,192	168,192	0
退職給付費用	113,869	98,561	15,308
公租公課	1,046,658	1,567,968	-521,310
減価償却費	108,805	195,803	-86,998
経常費用計	69,083,762	62,429,435	6,654,327
評価損益等調整前当期経常増減額	5,536,908	4,586,806	950,102
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,536,908	4,586,806	950,102
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,536,908	4,586,806	950,102
一般正味財産期首残高	53,534,352	48,947,546	4,586,806
一般正味財産期末残高	59,071,260	53,534,352	5,536,908
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	59,071,260	53,534,352	5,536,908

# 収支計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

一般社団法人 日本ゴム協会

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,000	100	900
基本財産運用収入	1,000	100	900
特定資産運用収入	1,000	93	907
入会金収入	60,000	75,000	-15,000
入会金収入	60,000	75,000	-15,000
会費収入	37,900,000	37,420,850	479,150
賛助会費収入	25,100,000	25,171,900	-71,900
正会費収入	12,500,000	11,879,950	620,050
学生会費収入	300,000	369,000	-69,000
事業収入	35,880,000	34,835,452	1,044,548
広告料収入	10,600,000	10,674,400	-74,400
会員外購読料収入	300,000	826,490	-526,490
バックナンバー収入	0	49,066	-49,066
本部行事収入	8,110,000	8,212,590	-102,590
年次大会収入	2,210,000	3,047,700	-837,700
夏期講座収入	4,000,000	2,751,690	1,248,310
討論会収入	1,900,000	2,413,200	-513,200
研究部会収入	12,880,000	8,943,900	3,936,100
委員参加収入	2,880,000	3,021,700	-141,700
行事収入	10,000,000	5,922,200	4,077,800
業務受託収入	3,700,000	5,885,356	-2,185,356
別刷り代收収入	290,000	243,650	46,350
寄付金収入	1,810,000	1,680,000	130,000
雑収入	220,000	608,549	-388,549
雑収入	220,000	608,549	-388,549
他会計からの繰入額	0	0	0
事業活動収入計	75,872,000	74,620,044	1,251,956
2. 事業活動支出			
事業費支出	53,706,000	46,213,384	7,492,616
会議費支出	300,000	1,277,573	-977,573
表彰費支出	2,200,000	2,088,950	111,050
普及費支出	4,600,000	4,669,187	-69,187
旅費交通費支出	700,000	468,580	231,420
通信費支出	640,000	397,412	242,588
印刷費支出	500,000	209,000	291,000
支部費支出	1,700,000	1,753,160	-53,160
本部行事費支出	6,600,000	6,518,677	81,323
年次大会費支出	1,950,000	2,264,294	-314,294
夏期講座費支出	2,900,000	2,010,208	889,792
討論会費支出	1,750,000	2,244,175	-494,175
雑誌費支出	15,300,000	14,710,210	589,790
編集費支出	3,200,000	4,210,926	-1,010,926
印刷製本費支出	8,600,000	7,562,486	1,037,514
発送費支出	2,800,000	2,495,298	304,702
原稿料支出	700,000	441,500	258,500
研究部会費支出	8,000,000	2,402,381	5,597,619
会議費支出	3,000,000	1,038,293	1,961,707

# 収支計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

一般社団法人 日本ゴム協会

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
行事費支出	5,000,000	1,364,088	3,635,912
国際交流費支出	1,700,000	200,000	1,500,000
国際会議費支出	86,000	104,835	-18,835
人件費支出	11,380,000	11,413,419	-33,419
給料手当支出	9,300,000	9,683,326	-383,326
福利厚生費支出	1,600,000	1,313,075	286,925
通勤費支出	300,000	244,830	55,170
中退掛金支出	180,000	172,188	7,812
退職金支出	0	0	0
管理費支出	24,630,000	22,531,129	2,098,871
会議費支出	500,000	478,400	21,600
旅費交通費支出	800,000	217,233	582,767
通信費支出	1,500,000	861,820	638,180
消耗品費支出	850,000	456,261	393,739
事務所費支出	4,500,000	4,596,223	-96,223
事務費支出	1,400,000	1,124,743	275,257
雑支出	2,800,000	2,586,693	213,307
人件費支出	10,980,000	11,163,098	-183,098
給料手当支出	9,050,000	9,458,601	-408,601
福利厚生費支出	1,510,000	1,297,158	212,842
通勤費支出	250,000	239,147	10,853
中退掛金支出	170,000	168,192	1,808
退職金支出	0	0	0
公租公課支出	1,300,000	1,046,658	253,342
事業活動支出計	78,336,000	68,744,513	9,591,487
事業活動収支差額	-2,464,000	5,875,531	-8,339,531
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	2,186,000	2,647,559	-461,559
退職積立基金	0	0	0
国際会議基金	86,000	2,047,729	-1,961,729
国際交流基金	1,700,000	200,880	1,499,120
日本ゴム協会賞基金	100,000	98,950	1,050
日本ゴム功績賞基金	100,000	100,000	0
ゴム科学技術奨励金基金	200,000	200,000	0
投資活動収入計	2,186,000	2,647,559	-461,559
2. 投資活動支出			
固定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	2,186,000	2,647,559	-461,559
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	-278,000	8,523,090	-8,801,090
前期繰越収支差額	5,270,188	5,270,188	0
次期繰越収支差額	4,992,188	13,793,278	-8,801,090

財務諸表に対する注記  
(一般会計)

1. 重要な会計方針

(1) 退職給付引当金の計上基準について

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職積立預金	2,899,016	49	0	2,899,065
国際会議基金	20,311,659	302	2,047,729	18,264,232
国際交流基金	13,439,574	139	200,880	13,238,833
日本ゴム協会賞基金	4,522,827	63	98,950	4,423,940
ゴム技術功績賞基金	2,228,936	40	100,000	2,128,976
ゴム科学技術奨励金基金	2,378,960	30	200,000	2,178,990
オーエンスレーガー賞基金	217,417	3	0	217,420
小 計	47,266,518	626	2,647,559	43,351,456
合 計	52,266,518	626	2,647,559	48,351,456

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	5,000,000	0	5,000,000	0
小 計	5,000,000	0	5,000,000	0
特定資産				
退職積立預金	2,899,065	0	0	2,899,065
国際会議基金	18,264,232	0	18,264,232	0
国際交流基金	13,238,833	0	13,238,833	0
日本ゴム協会賞基金	4,423,940	0	4,423,940	0
ゴム技術功績賞基金	2,128,976	0	2,128,976	0
ゴム科学技術奨励金基金	2,178,990	0	2,178,990	0
オーエンスレーガー賞基金	217,420	0	217,420	0
小 計	43,351,456	0	40,452,391	2,899,065
合 計	48,351,456	0	45,452,391	2,899,065

収支計算書に対する注記  
(一般会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現預金、未収入金などの短期金銭債権債務を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	41,031,446	46,443,207
未収入金	1,808,310	2,612,600
仮払金	404,100	1,219,292
合計	43,243,856	50,275,099
未払金	4,627,065	4,206,240
会費前受金	31,005,405	30,271,820
仮受金	2,341,198	2,003,761
合計	37,973,668	36,481,821
次期繰越収支差額	5,270,188	13,793,278

# 貸借対照表

2024年 3月31日現在

収益事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,409	5,849	-440
現金	0	0	0
普通預金	5,409	5,849	-440
未収入金	2,844,641	3,548,588	-703,947
貯蔵品	800,800	914,182	-113,382
流動資産合計	3,650,850	4,468,619	-817,769
資産合計	3,650,850	4,468,619	-817,769
II 負債の部			
1. 流動負債			
2. 固定負債			
退職給付引当金	397,985	384,701	13,284
固定負債合計	397,985	384,701	13,284
負債合計	397,985	384,701	13,284
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	3,252,865	4,083,918	-831,053
正味財産合計	3,252,865	4,083,918	-831,053
負債及び正味財産合計	3,650,850	4,468,619	-817,769

# 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

収益事業会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	1,795,127	2,343,100	-547,973
出版物収益	1,653,098	2,247,769	-594,671
ゴム技術基礎収益	1,056,161	1,400,970	-344,809
ゴム用語辞典収益	569,415	805,283	-235,868
ゴム技術入門収益	27,522	36,346	-8,824
免震ハンドブック	0	5,170	-5,170
印税収益	142,029	95,331	46,698
雑収益	116,794	257,861	-141,067
雑収益	116,794	257,861	-141,067
経常収益計	1,911,921	2,600,961	-689,040
(2) 経常費用			
事業費	2,742,974	2,113,538	629,436
出版費	329,676	309,238	20,438
事務所費	264,839	256,402	8,437
事務費	64,837	52,836	12,001
書籍購入費	748,632	366,328	382,304
人件費	1,313,810	1,166,658	147,152
給料手当	1,103,385	946,748	156,637
厚生費	149,618	155,897	-6,279
通勤費	27,903	32,895	-4,992
中退共済掛金	19,620	19,620	0
退職給付費用	13,284	11,498	1,786
公租公課	350,416	259,874	90,542
雑費	440	11,440	-11,000
経常費用計	2,742,974	2,113,538	629,436
評価損益等調整前当期経常増減額	-831,053	487,423	-1,318,476
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-831,053	487,423	-1,318,476
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-831,053	487,423	-1,318,476
一般正味財産期首残高	4,083,918	3,596,495	487,423
一般正味財産期末残高	3,252,865	4,083,918	-831,053
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,252,865	4,083,918	-831,053

# 収支計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

収益事業会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	2,260,000	1,795,127	464,873
出版物収入	2,110,000	1,653,098	456,902
ゴム技術基礎収入	1,500,000	1,056,161	443,839
ゴム用語辞典収入	540,000	569,415	-29,415
ゴム技術入門収入	50,000	27,522	22,478
免震ハンドブック	20,000	0	20,000
印税収入	150,000	142,029	7,971
雑収入	320,000	116,794	203,206
雑収入	320,000	116,794	203,206
事業活動収入計	2,580,000	1,911,921	668,079
2. 事業活動支出			
事業費支出	2,550,000	2,616,308	-66,308
出版費支出	390,000	329,676	60,324
通信費支出	10,000	0	10,000
事務所費支出	250,000	264,839	-14,839
消耗品費支出	10,000	0	10,000
発送費支出	60,000	0	60,000
事務費支出	60,000	64,837	-4,837
書籍購入費支出	600,000	635,250	-35,250
人件費支出	1,257,000	1,300,526	-43,526
給料手当支出	1,025,000	1,103,385	-78,385
福利厚生費支出	176,000	149,618	26,382
通勤費支出	36,000	27,903	8,097
中退掛金支出	20,000	19,620	380
退職金支出	0	0	0
公租公課支出	300,000	350,416	-50,416
雑支出	3,000	440	2,560
他会計への繰出額	0	0	0
事業活動支出計	2,550,000	2,616,308	-66,308
事業活動収支差額	30,000	-704,387	734,387
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	30,000	0	30,000
当期収支差額	0	-704,387	704,387
前期繰越収支差額	3,554,437	3,554,437	0
次期繰越収支差額	3,554,437	2,850,050	704,387

財務諸表に対する注記  
(収益事業会計)

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理している。

(2) 貯蔵品の評価方法

貯蔵品の評価方法は個別法により行っている。

収支計算書に対する注記  
(収益事業会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現預金、未収入金などの短期金銭債権債務を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	5,849	5,409
未収入金	3,548,588	2,844,641
合計	3,554,437	2,850,050
合計	0	0
次期繰越収支差額	3,554,437	2,850,050

# 貸借対照表

2024年 3月31日現在

支部会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,183,857	20,997,038	-813,181
現金	239,831	493,117	-253,286
定期預金	3,015,637	3,015,583	54
普通預金	16,928,389	17,488,338	-559,949
未収入金	0	0	0
在庫商品	680,595	920,835	-240,240
立替金	0	0	0
前払費用	68,808	130,010	-61,202
仮払金	116,165	0	116,165
流動資産合計	21,049,425	22,047,883	-998,458
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
電話加入権	42,000	42,000	0
その他固定資産合計	42,000	42,000	0
固定資産合計	42,000	42,000	0
資産合計	21,091,425	22,089,883	-998,458
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	885,000	560	884,440
仮受金	1,922,500	2,051,500	-129,000
流動負債合計	2,807,500	2,052,060	755,440
負債合計	2,807,500	2,052,060	755,440
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	18,283,925	20,037,823	-1,753,898
正味財産合計	18,283,925	20,037,823	-1,753,898
負債及び正味財産合計	21,091,425	22,089,883	-998,458

# 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

支部会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	21,928,260	16,551,815	5,376,445
出版物収益	178,000	226,000	-48,000
東海支部	178,000	226,000	-48,000
交付金収益	1,653,160	1,602,920	50,240
講演会収益	4,387,600	2,967,000	1,420,600
講習会収益	10,927,600	7,692,600	3,235,000
見学会収益	876,700	581,000	295,700
セミナー収益	3,228,200	3,364,295	-136,095
交流会収益	330,000	0	330,000
会議費収益	347,000	118,000	229,000
60周年記念式典収益	0	114,000	-114,000
雑収益	4,948	10,805	-5,857
雑収益	4,948	10,805	-5,857
経常収益計	21,933,208	16,676,620	5,256,588
(2) 経常費用			
事業費	23,687,106	22,608,768	1,078,338
会議費	2,205,842	1,664,467	541,375
旅費交通費	437,133	602,242	-165,109
通信費	546,655	566,371	-19,716
印刷費	39,600	39,600	0
人件費	9,630,794	7,403,358	2,227,436
給料手当	9,630,794	7,403,358	2,227,436
講演会費	2,926,849	2,826,295	100,554
講習会費	2,882,041	3,767,060	-885,019
見学会費	147,602	121,044	26,558
セミナー費	1,408,218	904,934	503,284
交流会費	424,423	118,531	305,892
消耗品費	148,177	407,302	-259,125
事務所費	1,567,559	1,570,701	-3,142
書籍代	240,240	209,040	31,200
公租公課	70,007	70,005	2
60周年記念式典費用	334	2,131,984	-2,131,650
雑費	1,011,632	205,834	805,798
経常費用計	23,687,106	22,608,768	1,078,338
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,753,898	-5,932,148	4,178,250
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-1,753,898	-5,932,148	4,178,250
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,753,898	-5,932,148	4,178,250
一般正味財産期首残高	20,037,823	25,969,971	-5,932,148
一般正味財産期末残高	18,283,925	20,037,823	-1,753,898
II 指定正味財産増減の部			

# 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

支部会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	18,283,925	20,037,823	-1,753,898

# 収支計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

支部会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事業収入	19,046,000	21,928,260	-2,882,260
出版物収入	230,000	178,000	52,000
東海支部	230,000	178,000	52,000
交付金収入	1,726,000	1,653,160	72,840
講演会収入	3,150,000	4,387,600	-1,237,600
講習会収入	9,450,000	10,927,600	-1,477,600
見学会収入	630,000	876,700	-246,700
セミナー収入	3,536,000	3,228,200	307,800
交流会収入	250,000	330,000	-80,000
会議費収入	74,000	347,000	-273,000
60周年記念式典収入	0	0	0
雑収入	10,000	4,948	5,052
雑収入	10,000	4,948	5,052
事業活動収入計	19,056,000	21,933,208	-2,877,208
2. 事業活動支出			
事業費支出	20,323,000	23,687,106	-3,364,106
会議費支出	1,180,000	2,205,842	-1,025,842
旅費交通費支出	756,000	437,133	318,867
通信費支出	590,000	546,655	43,345
印刷費支出	100,000	39,600	60,400
人件費支出	7,910,000	9,630,794	-1,720,794
給料手当支出	7,910,000	9,630,794	-1,720,794
講演会費支出	2,840,000	2,926,849	-86,849
講習会費支出	3,260,000	2,882,041	377,959
見学会費支出	206,000	147,602	58,398
セミナー費支出	900,000	1,408,218	-508,218
交流会費支出	275,000	424,423	-149,423
消耗品費支出	270,000	148,177	121,823
事務所費支出	1,586,000	1,567,559	18,441
書籍代支出	215,000	240,240	-25,240
公租公課支出	70,000	70,007	-7
60周年記念式典支出	0	334	-334
雑支出	165,000	1,011,632	-846,632
事業活動支出計	20,323,000	23,687,106	-3,364,106
事業活動収支差額	-1,267,000	-1,753,898	486,898
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	30,000	0	30,000

# 収支計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

支部会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
当期収支差額	-1,297,000	-1,753,898	456,898
前期繰越収支差額	19,995,823	19,995,823	0
次期繰越収支差額	18,698,823	18,241,925	456,898

財務諸表に対する注記  
(支部会計)

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等は税込経理により処理している。

(2) 在庫商品の評価方法

在庫商品の評価方法は個別法により評価している。

収支計算書に対する注記  
(支部会計)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現預金、未収入金などの短期金銭債権債務を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	20,997,038	20,183,857
未収入金	0	0
在庫商品	920,835	680,595
立替金	0	0
前払費用	130,010	68,808
仮払金	0	116,165
合計	22,047,883	21,049,425
未払金	560	885,000
預り金	0	0
仮受金	2,051,500	1,922,500
合計	2,052,060	2,807,500
次期繰越収支差額	19,995,823	18,241,925

# 2023年度監査報告

一般社団法人日本ゴム協会  
会長 網野 直也 殿

私たち監事は、当協会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法第99条第1項)及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第64条において準用する同規則第36条及び第45条)の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当協会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2024年4月30日

監事	小禁 次郎	
監事	長谷 朝博	
監事	村上 裕人	

# 2024年度活動方針

## 一般社団法人 日本ゴム協会

2024年度は、本協会の目的（別記）達成のため、ゴムに関連する技術の研究結果の発表と議論ならびに情報収集の場を会員に十分に提供するとともに、本協会の活動を国内外に情報発信する。具体的には、国内外の交流推進、論文投稿の活性化、顕彰制度の充実など必要な事業を実行する。

上記の方針に従い、下記の業務を本部、支部、部門等で分担して遂行する。

- (1) 本部：各支部、各部会および各部門と連携しつつ、協会の円滑な運営・活動にあたり、財務の健全化、国内外への情報発信を行う。
- (2) 支部：会員のための地域的活動を強力に推進するとともに、本部との緊密な連携によって三重大行事の開催に協力する。
- (3) 行事部門：本部行事（年次大会、エラストマー討論会、夏期講座）の充実と国際化を図り、会員の学識と技術の向上、会員相互の意見交換、国内外への情報発信を行う。
- (4) 出版・会誌部門：学術論文誌としての協会誌の充実を図るとともに、機関誌として

の協会誌を通じて、ゴムに関連する学術から産業技術に渡る幅広い分野の最新解説記事を提供し、会員の学識と技術の向上、ならびに国内外への情報発信に貢献する。

- (5) 研究部会：会員のニーズに適合した研究分科会活動を活発に行うとともに、各専門分野に関するシンポジウム、講習会などを通じて会員の学識と技術の向上を図る。
- (6) 標準化部門：日本ゴム工業会ISO/TC45国内審議委員会に対応する分科会メンバーとしてJISおよびISO規格の立案ならびに改正案の作成を支援する。
- (7) 国際部門：国際交流全般を主導する。国内外で開催されるゴム関係国際会議の窓口機能を果たすと同時に、国際会議開催の立案、国際交流協定の締結、人材派遣など国際交流に必要な施策を実行する。
- (8) 顕彰部門：規定に則り、ゴム科学と技術の発展に寄与した候補者選定を厳正に行い、その成果を顕彰することによりゴム科学と技術の普及発展に資する。

日本ゴム協会三重大行事開催予定

	2024	2025	2026	2027	2028
年次大会	東海	関東	関西	東海	関東
夏期講座	関東	関西	—	関東	関西
エラストマー討論会	関西	東海	—	関西	東海

※2026年はIRC開催年

2028年は100周年

(別記) 本協会の目的：ゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関する基礎から応用に至る科学・技術およびナノテクノロジーなど先端研究の推進をリードし、その成果や最新情報を広く会員に伝達することによって会員の学識と技術の向上に資するとともに、広く一般に情報を発信し、ゴムに関連する学術ならびに産業の進歩発達を図り、文化の向上に寄与することを目的とする。

# 2024年度事業計画

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

## 一般社団法人日本ゴム協会

1. 学術及び生産技術の研究及び調査（定款第4条第1号）
  - (1) 2024年年次大会（第13回定時社員総会）を下記のとおり開催する。

日時 2024年5月30日（木）・31日（金）  
会場 名古屋市中小企業振興会館 参加予定者230名
  - (2) 第35回エラストマー討論会を下記のとおり開催する。

日時 2024年12月3日（火）・4日（水）  
会場 大阪大学中之島センター 参加予定者270名
2. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第2号）
  - (1) 研究部会ではゴム・エラストマー・ソフトマテリアルとその周辺科学をより深く追求し、その成果を会員ならびに社会に還元する。
    - ①広くゴム及びその周辺科学に関連する先端基礎科学、材料特性、設計、生産及び評価の先端技術について調査研究を行い、その成果を我が国ゴム産業の発展に役立てることを目的とする。
    - ②各研究分科会において、定期的に研究会を催し、最新の課題について調査・研究し討論する。
  - (2) 顕彰関係
    - ①日本ゴム協会賞  
創立60周年を記念して設定されたもので、第36回の表彰と第37回の選考を行う。
    - ②ゴム技術功績賞  
創立35周年を記念して有功賞として設定され、2000年に功績賞と名称を改めたもので、第62回の表彰と第63回の選考を行う。
    - ③優秀論文賞  
創立25周年を記念して設定されたもので、第71回の表彰と第72回の選考を行う。
    - ④ゴム技術進歩賞  
創立15周年を記念して設定されたもので、第79回の表彰と第80回の選考を行う。
    - ⑤オーエンスレーガー賞  
1957年ゴム科学の権威故オーエンスレーガー氏を記念して設立されたもので、第34回の表彰を行う。
    - ⑥日本ゴム協会科学技術奨励賞  
創立50周年を記念して設定された奨励金を2008年
3. 講演会の開催（定款第4条第3号）
  - (1) 第58回夏期講座を下記のとおり開催する。

日時 2024年8月8日（木）・9日（金）  
会場 ブリヂストン奥多摩園 参加予定者80名
  - (2) 研究分科会において得られた専門的成果に基づいて、分科会主催のシンポジウム、講習会を開催し、会員ならびに一般ゴム科学技術者の研鑽に資する。
  - (3) 各支部において次のような諸行事を実施する予定で、詳細は各支部に一任する。

関東支部 講習会2回、講演会2回、紹介講演会1回、セミナー2回、見学会1回、交流会1回、初級ゴム技術研修会（化学物質評価研究機構と共催）  
東海支部 講習会1回、講演会3回、紹介講演会1回、見学会1回、セミナー1回  
関西支部 講習会1回、講演会6回、紹介講演会1回、サタデーセミナー6回、見学会1回、交流会2回、若手セミナー5回  
九州支部 講演会2回、事例発表会1回、技術講座1回、交流会2回
4. 会誌及び図書の刊行（定款第4条第4号）
  - (1) 日本ゴム協会誌の発行  
協会誌編集に当たって、基本的にはこれまでの基

本方針を継承する。

会員へのゴム技術提供及び学術推進のための機関誌「日本ゴム協会誌」発行において以下の企画を推進する。

- ①ゴム技術を中心に周辺技術やソフトマテリアル材料に関するタイムリーな情報を提供する。
- ②会員啓蒙のため、一つのテーマについて、複数回にわたってより詳しく解説した「特論講座」を引続き連載する。
- ③今日的なテーマ及びゴム固有のテーマ等で特集を組み、研究部会の協力も得て、定期的に掲載する。
- ④わが国で編集発行するゴム技術論文誌として、高いレベルで審査、発行する。
- ⑤ゴム技術に関する豆知識を継続して連載する。
- ⑥年次大会及びエラストマー討論会での研究発表やIRC, IRCCあるいはISO/TC45国際会議などの海外におけるゴム・ソフトマテリアル関連の参加記等を掲載し、会員への情報提供に努める。
- ⑦発行予定：2024年の1年間で12冊（普通号7冊，特集号5冊）  
総説，論文等のページ数を各号35頁×12冊=420頁，  
会告：各号30頁×12冊=360頁，年間総頁数：780頁（予定）

## (2) 出版関係

- ①2005年度にJ-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsm>) 上で創刊した英文電子ジャーナル (e-Journal of Soft Materials) を継続して発行し、ゴムを中心とした諸分野の研究成果を世界に発信する場を提供するとともに、世界のゴム科学・技術・工業の発展に寄与する。
- ②日本ゴム協会誌の電子公開を継続して行う。

## 5. 見学及び視察（定款第4条第5号）

### (1) 国際交流

- IRC2024Istanbulに代表派遣を予定する。また、アジア地域を中心とした各国との連携を進め、世界のゴム科学技術の発展に貢献する。
- (2) 各支部で会員ならびに一般ゴム科学技術者の資質向上を目的に見学会を開催する。

## 6. 会員の交流（定款第4条第6号）

### (1) 会員活動の充実と会員増強

会員（正・学生・賛助・名誉）のための活動の場（シンポジウム，講演会，講習会，研究発表会）を積極的に提供し、世界に向けて発信（e-JSM）するこ

とでゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関する研究開発・科学技術の発展に貢献するとともに社会的ニーズ，業界動向など，会員の「見たい・聞きたい・知りたい情報」を提供する行事企画を推進し，会員一人一人の活動を支援する。会員活動の充実を図り，併せて会員増強の基礎となす。

## 7. 関係官庁及び関係団体等の諮問に対する答申又は建議（定款第4条第7号）

- (1) 研究部会では必要に応じて関係官庁及び関連団体の諮問に応ずる。
- (2) ゴム及びゴム製品に係る標準化活動

### 1. 国際標準開発全般

引続き「日本のゴム関連企業の有する優れた技術と高い品質(Japan Quality)を示すことができ、日本製品の優位に見える化する。」ことを命題として規格開発を戦略的に進める。特に、重要テーマである「バイオベース度の求め方」や「合成ゴムのコールドフローの求め方」など、その計画に沿った確実な実施と成果報告に繋げ、併せて、次の大型テーマの提案に繋げる検討を積極的に進めることを計画する。

- ①ISO開発：継続する重点テーマとして「バイオベース度の求め方」，「合成ゴムのコールドフローの求め方」などの規格開発に注力する。また、日本品質の見える化／格差付けを狙った継続案件10件を中心に確実にISO発行あるいは次の段階へ進展させる予定。更に、定期見直し56件の審議を行う計画。実施に当っては国内での戦略的な審議を踏まえ、ISO国際会議への積極的な参加と提言，更に関係官庁及び関係団体の諮問に対する答申・連絡を心がける。
- ②JIS開発：JISに関しては33件の定期見直しを行うと共に、「耐候性」や「熱老化特性」，「加硫ゴム及び熱可塑性ゴム耐摩耗性の求め方―第1部～第5部」等計6件の原案作成を進める予定。
- ③国際会議：第72回ISO/TC45国際会議は、10月21日(月)～10月25日(金)に奈良での開催予定で、日本の主催であり、多くの日本人委員の出席を見込んでいる。期間中に大小30以上の会議が開催され、審議案件のISO規格発行及びステージアップの可否が決定されるため、日本提案の発行決定やステージアップのための丁寧な説明や活発な議論，更には新規提案のわかりやすい説明を実施する予定。また、近年の新興国の提案案件を中心として、国内産業に負の影響を与えそ

うな案件について注視し、必要ならば会議中に可能な反論を実施、もしくは関係団体と連携して、課題解決に向けた活動を推進する予定。

2. 新規テーマ創出：継続して、「日本のゴム関連企業の有する優れた技術と高い品質(Japan Quality)を示すことができ、日本製品の優位を見える化する。」為の規格化テーマの創出を行う予定。「高圧ガス用ホースの耐久性評価方法」や「加硫再生ゴムの評価方法」、「土壌・堆積物中のタイヤ・道路摩耗粉塵の定量方法」の規格開発を進めてゆく。
3. 委員会構成、人材面：前年度と同様に、ISO/TC45国内審議委員会活動の為の14分科会の体制で実施する。事務局は昨年度と同様の体制を継続する。
4. 関連団体との連携強化：引続き、友好団体はもとより、自動車技術会、プラスチック工業連盟、日

本試験機工業会、日本溶接協会、日本産業機械工業会、水素供給利用技術研究協会、日本エルピーガス供給機器工業会、日本寝装寝具協会、日本免震構造協会、建築ガasket協会、日本グローブ工業会等との関係を強化し、ISO/TC45関連の標準化活動を更に連携した活動として実施する予定。

また、昨年度のISO新規案件でも見られた新興国の提案の国内産業への影響の検討のため、関係団体との連携を更に強化して行く予定。

8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第8号)
  - (1) 研究部会の活性化のためにゴムエラストマー若手研究分科会を新設する。
  - (2) IRC2026 AICHIの開催準備を進める。

2024年度 事業計画表

月	本部	支 部	研究部会
4月	2023年度監査会(30日)ハイブリッド開催 第1回理事会(30日)ハイブリッド開催	関東 2024年度第1回支部幹事会(22日)ハイブリッド開催 東海 月例講演会(19日)ハイブリッド開催 名古屋市工業研究所 関西 第45回サタデーセミナー4月例会(6日)DKビル/ハイブリッド 九州 第1回支部幹事会(15日)大阪産業創造館6F会議室C/ハイブリッド	
5月	2024年年次大会(30日・31日) 第13回定時社員総会 研究発表会 名古屋市中小企業振興会館	関東 東海 関西 九州	
6月		関東 第64回ゴム技術入門講座(6月26日・27日、7月24日・25日)オンライン開催 東海 支部総会・記念講演会(28日)今池ガスビル 関西 第45回サタデーセミナー6月例会(1日)・DKビル/ハイブリッド 九州 支部会議・特別講演会(15日)・大阪産業創造館6F会議室C/ハイブリッド 第37回若手セミナー(18日)・大阪産業創造館6F会議室D/ハイブリッド 6月度例講演会(共催:中国ゴム技術研究会)(21日)広島県民文化センターふくやま 文化交流室 第76回支部会議・講演会・交流会(7日)久留米シティプラザ	
7月		関東 2024年度第2回支部幹事会(22日)未定 東海 ゴム技術入門講座(11・12日、18・19日)ハイブリッド開催 関西 九州	シボジウム 水素(12日)ハイブリッド開催
8月	第2回理事会(1日)ハイブリッド開催 第58回夏期講座(8日・9日) ブリヂストン奥多摩園	関東 東海 関西 九州	講習会 力学(23日)ハイブリッド開催
9月		関東 第22回若手からベテランのためのセミナー(初旬)オンライン開催 東海 見学会(中旬)未定 関西 2024年度第3回支部幹事会(中旬)未定 九州 月例講演会 第39回若手セミナー(10日)・大阪産業創造館6F会議室D/ハイブリッド 9月例会講演会(共催:神戸ゴム科学研究会)(未定)兵庫県工業技術センター 第10回ゴムの実践技術講座(実習)(3日～6日)久留米高専 第35回ゴム技術・研究事例発表会(27日)久留米シティプラザ	
10月	第3回理事会(下旬)ハイブリッド開催	関東 第47回総合紹介講演会(15日)大田区産業プラザ(PiO) 東海 月例講演会(地方講演会) 関西 第45回サタデーセミナー10月例会(5日)DKビル/ハイブリッド 九州 第40回若手セミナー(10日)・6F会議室D/ハイブリッド 2023年秋期ゴム技術講習会(10日・11日)会場未定	シボジウム 練り(29・30日)ハイブリッド開催
11月		関東 第64回秋期ゴム技術講習会(中旬)オンライン開催 東海 見学会 関西 第38回総合紹介講演会(15日)大阪天満橋・ドーンセンター 九州 第3回関西支部幹事会(22日)大阪産業創造館6F会議室C/ハイブリッド 11月例会講演会(29日)(共催:関西ゴム技術研究所)東大阪市クリエーターズプラザ	シボジウム 分析(8日)ハイブリッド開催 接着(29日)ハイブリッド開催
12月	第35回エラストマー討論会(3日・4日) 大阪大学中之島センター(予定)	関東 技術講演会と支部交流会・2024年度第4回支部幹事会(中旬)未定 東海 見学会(15日)東海カーボン株式会社 知多工場 関西 第45回サタデーセミナー12月例会(7日)DKビル/ハイブリッド 九州	シボジウム 金型(未定)ハイブリッド開催
2025 1月	第4回理事会(下旬)ハイブリッド開催	関東 アドバンストセミナー 東海 1月例会見学会(未定) 関西 第4回支部幹事会・新年親睦会<関西支部合同役員会>(未定) 九州 新春講演会・交流会(31日)久留米シティプラザ	
2月		関東 技術講演会・2024年度第5回支部幹事会(7日)未定 東海 アドバンテックセミナー2025(中旬)オンライン開催 関西 総合紹介講演会(6日)名古屋市中小企業振興会館 九州 第45回サタデーセミナー2月例会(1日)DKビル対面のみで開催 2月例会講演会(共催:広島ゴム技術員会)(未定)/広島市工業技術センター	シボジウム 劣化(未定)ハイブリッド開催
3月		関東 東海 関西 九州	シボジウム 配合(未定)ハイブリッド開催

# 2024年度収支予算

一般社団法人日本ゴム協会

## 収支予算書総括表

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

(単位:千円)

科目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合計
I. 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
① 基本財産運用収入	1	0	0	0	1
基本財産運用収入	1	0	0	0	1
② 特定資産運用収入	1	0	0	0	1
③ 入会金収入	60	0	0	0	60
入会金収入	60	0	0	0	60
④ 会費収入	38,035	0	0	0	38,035
賛助会費収入	25,450	0	0	0	25,450
正会費収入	12,000	0	0	0	12,000
学生会費収入	585	0	0	0	585
⑤ 事業収入	37,930	2,260	22,621	△ 7,800	55,011
広告料収入	10,600	0	0	0	10,600
会員外購読料収入	650	0	0	0	650
バックナンバー収入	0	0	0	0	0
本部行事収入	9,680	0	0	0	9,680
研究部会収入	10,800	0	0	0	10,800
会議費収入	0	0	320	0	320
別刷り代収入	200	0	0	0	200
出版物収入	0	2,110	200	0	2,310
印税収入	0	150	0	0	150
業務受託収入	6,000	0	0	△ 6,000	0
交付金収入	0	0	1,718	△ 1,700	18
講演会収入	0	0	4,669	△ 100	4,569
講習会収入	0	0	11,274	0	11,274
見学会収入	0	0	863	0	863
セミナー収入	0	0	3,233	0	3,233
交流会収入	0	0	344	0	344
⑥ 寄付金収入	1,590	0	0	0	1,590
⑦ 雑収入	220	320	10	0	550
事業活動収入計	77,837	2,580	22,631	△ 7,800	95,248
2 事業活動支出					
① 事業費支出	55,390	2,550	23,795	△ 7,800	73,935
会議費支出	1,350	0	2,229	0	3,579
表彰費支出	2,200	0	0	0	2,200
普及費支出	4,600	0	0	△ 100	4,500
旅費交通費支出	700	0	695	0	1,395
通信費支出	640	0	590	0	1,230
印刷費支出	500	0	100	0	600
支部費支出	1,700	0	0	△ 1,700	0
本部行事費支出	6,900	0	0	0	6,900
雑誌費支出	16,100	0	0	0	16,100
研究部会費支出	4,500	0	0	0	4,500
国際交流費支出	1,700	0	0	0	1,700
国際会議費支出	100	0	0	0	100
人件費支出	14,400	1,257	9,725	△ 6,000	19,382
出版費支出	0	390	0	0	390
書籍購入費支出	0	600	0	0	600
講演会費支出	0	0	3,150	0	3,150
講習会費支出	0	0	2,950	0	2,950
見学会費支出	0	0	190	0	190
セミナー費支出	0	0	1,400	0	1,400
交流会費支出	0	0	441	0	441
消耗品費支出	0	0	185	0	185
事務所費支出	0	0	1,586	0	1,586

**収支予算書総括表**

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

(単位:千円)

科 目	一般会計	収益事業会計	支部会計	内部取引消去	合 計
書籍代支出	0	0	220	0	220
雑支出	0	3	265	0	268
公租公課支出	0	300	70	0	370
② 管理費支出	27,160	0	0	0	27,160
会議費支出	500	0	0	0	500
旅費交通費支出	500	0	0	0	500
通信費支出	1,500	0	0	0	1,500
消耗品費支出	500	0	0	0	500
事務所費支出	4,700	0	0	0	4,700
事務費支出	1,200	0	0	0	1,200
雑支出	2,800	0	0	0	2,800
人件費支出	14,060	0	0	0	14,060
公租公課支出	1,400	0	0	0	1,400
事業活動支出計	82,550	2,550	23,795	△ 7,800	101,095
事業活動収支差額	△ 4,713	30	△ 1,164	0	△ 5,847
II. 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
① 特定資産取崩収入	5,100	0	0	0	5,100
国際会議基金取崩収入	3,000	0	0	0	3,000
国際交流基金取崩収入	1,700	0	0	0	1,700
協会賞基金取崩収入	100	0	0	0	100
功績賞基金取崩収入	100	0	0	0	100
奨励賞基金取崩収入	200	0	0	0	200
投資活動収入計	5,100	0	0	0	5,100
2 投資活動支出					
① 特定資産取得支出	0	0	0	0	0
② 固定資産取得支出	0	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	5,100	0	0	0	5,100
III. 財務活動収支の部					
1 財務活動収入	0	0	0	0	0
2 財務活動支出	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
IV. 予備費支出	0	30	30	0	60
当期収支差額	387	0	△ 1,194	0	△ 807
前期繰越収支差額	13,793	2,850	21,188	0	37,831
次期繰越収支差額	14,180	2,850	19,994	0	37,024

## 収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会  
一般会計

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	1	0	
基本財産運用収入	1	1	0	基本金の利子
② 特定資産運用収入	1	1	0	基金の利子
③ 入会金収入	60	60	0	
入会金収入	60	60	0	1,000円×60名
④ 会費収入	38,035	37,900	135	
賛助会費収入	25,450	25,100	350	406社見込み
正会費収入	12,000	12,500	△ 500	1,400名見込み
学生会費収入	585	300	285	130名見込み
⑤ 事業収入	37,930	35,880	2,050	
広告料収入	10,600	10,600	0	2023決算ベース
会員外購読料収入	650	300	350	2023決算ベース
バックナンバー収入	0	0	0	2024見込み
本部行事収入	9,680	8,110	1,570	
年次大会収入	3,050	2,210	840	2023決算ベース
夏期講座収入	3,380	4,000	△ 620	80名見込み
討論会収入	3,250	1,900	1,350	270名見込み
研究部会収入	10,800	12,880	△ 2,080	
委員参加収入	3,100	2,880	220	2023実績ベース
行事収入	7,700	10,000	△ 2,300	350名見込み
業務受託収入	6,000	3,700	2,300	関東支部より
別刷り代收収入	200	290	△ 90	2023決算ベース
⑥ 寄付金収入	1,590	1,810	△ 220	2024見込み
⑦ 雑収入	220	220	0	2023予算ベース
事業活動収入計	77,837	75,872	1,965	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	55,390	53,706	1,684	
会議費支出	1,350	300	1,050	2024見込み
表彰費支出	2,200	2,200	0	2024見込み
普及費支出	4,600	4,600	0	2023決算ベース
旅費交通費支出	700	700	0	2023予算ベース
通信費支出	640	640	0	2023予算ベース
印刷費支出	500	500	0	2023予算ベース
支部費支出	1,700	1,700	0	2023決算ベース
本部行事費支出	6,900	6,600	300	
年次大会費支出	2,300	1,950	350	2023決算ベース
夏期講座費支出	2,100	2,900	△ 800	2023決算ベース
討論会費支出	2,500	1,750	750	2023決算ベース
雑誌費支出	16,100	15,300	800	
編集費支出	4,000	3,200	800	2023決算ベース
印刷製本費支出	8,600	8,600	0	2023予算ベース
発送費支出	2,800	2,800	0	2023予算ベース
原稿料支出	700	700	0	2023予算ベース
研究部会費支出	4,500	8,000	△ 3,500	
会議費支出	2,000	3,000	△ 1,000	2019実績ベース
行事費支出	2,500	5,000	△ 2,500	2019実績ベース
国際交流費支出	1,700	1,700	0	2023予算ベース
国際会議費支出	100	86	14	2023実績ベース
人件費支出	14,400	11,380	3,020	
給料手当支出	11,840	9,300	2,540	2024見込み
福利厚生費支出	1,930	1,600	330	2024見込み

## 収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会  
一般会計

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
通勤費支出	450	300	150	2024見込み
中退共済掛金支出	180	180	0	2024見込み
退職金支出	0	0	0	2024見込み
② 管理費支出	27,160	24,630	2,530	
会議費支出	500	500	0	2023予算ベース
旅費交通費支出	500	800	△ 300	2019年実績ベース
通信費支出	1,500	1,500	0	2022決算ベース
消耗品費支出	500	850	△ 350	2023実績ベース
事務所費支出	4,700	4,500	200	2023実績ベース
事務費支出	1,200	1,400	△ 200	2023実績ベース
雑支出	2,800	2,800	0	2023実績ベース
人件費支出	14,060	10,980	3,080	
給料手当支出	11,570	9,050	2,520	2024見込み
福利厚生費支出	1,880	1,510	370	2024見込み
通勤費支出	440	250	190	2024見込み
中退共済掛金支出	170	170	0	2024見込み
退職金支出	0	0	0	2024見込み
公租公課支出	1,400	1,300	100	2024見込み
事業活動支出計	82,550	78,336	4,214	
事業活動収支差額	△ 4,713	△ 2,464	△ 2,249	
II. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	5,100	2,186	2,914	
退職積立基金取崩収入	0	0	0	
国際会議基金取崩収入	3,000	86	2,914	2023決算ベース
国際交流基金取崩収入	1,700	1,700	0	2023予算ベース
協会賞基金取崩収入	100	100	0	2023予算ベース
功績賞基金取崩収入	100	100	0	2023見込み
奨励賞基金取崩収入	200	200	0	2021予算ベース
投資活動収入計	5,100	2,186	2,914	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	0	0	0	
② 固定資産取得支出	0	0	0	
国際交流基金	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	5,100	2,186	2,914	
III. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	387	△ 278	665	
前期繰越収支差額	13,793	5,270	8,523	
次期繰越収支差額	14,180	4,992	9,188	

(注) 1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成し

2. 借入金限度額 0円

3. 債務負担額 なし

## 収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会

収益事業会計

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 事業収入	2,260	2,260	0	
出版物収入	2,110	2,110	0	
ゴム技術基礎収入	1,500	1,500	0	2023予算ベース
ゴム用語辞典収入	540	540	0	2023予算ベース
ゴム技術入門収入	50	50	0	2023予算ベース
免震ハンドブック	20	20	0	2023予算ベース
広告料収入	0	0	0	
印税収入	150	150	0	2023予算ベース
② 雑収入	320	320	0	2023予算ベース
事業活動収入計	2,580	2,580	0	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	2,550	2,550	0	
出版費支出	390	390	0	
印刷費支出	0	0	0	
会議費支出	0	0	0	2023予算ベース
通信費支出	10	10	0	2023予算ベース
事務所費支出	250	250	0	2023予算ベース
消耗品費支出	10	10	0	2023予算ベース
発送費支出	60	60	0	2023予算ベース
旅費交通費支出	0	0	0	2023予算ベース
事務費支出	60	60	0	2023予算ベース
貯蔵品減少費支出	0	0	0	
書籍購入費支出	600	600	0	2023予算ベース
人件費支出	1,257	1,257	0	
給料手当支出	1,025	1,025	0	2023予算ベース
福利厚生費支出	176	176	0	2023予算ベース
通勤費支出	36	36	0	2023予算ベース
中退共済掛金支出	20	20	0	2023予算ベース
退職金支出	0	0	0	
公租公課支出	300	300	0	2023予算ベース
雑支出	3	3	0	2023予算ベース
事業活動支出計	2,550	2,550	0	
事業活動収支差額	30	30	0	
II. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
2 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出	30	30	0	2023予算ベース
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	2,850	3,554	△ 704	
次期繰越収支差額	2,850	3,554	△ 704	

(注) 1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成し

2. 借入金限度額 0円

3. 債務負担額 なし

## 収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

一般社団法人日本ゴム協会  
支部会計

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 事業収入	22,621	19,046	3,575	
交付金収入	1,718	1,726	△ 8	
講演会収入	4,669	3,150	1,519	
講習会収入	11,274	9,450	1,824	
見学会収入	863	630	233	
セミナー収入	3,233	3,536	△ 303	
交流会収入	344	250	94	
会議費収入	320	74	246	
出版物収入	200	230	△ 30	
② 雑収入	10	10	0	
事業活動収入計	22,631	19,056	3,575	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	23,795	20,323	3,472	
講演会費支出	3,150	2,840	310	
講習会費支出	2,950	3,260	△ 310	
見学会費支出	190	206	△ 16	
セミナー費支出	1,400	900	500	
交流会費支出	441	275	166	
会議費支出	2,229	1,180	1,049	
印刷費支出	100	100	△ 0	
消耗品費支出	185	270	△ 85	
通信費支出	590	590	0	
旅費交通費支出	695	756	△ 61	
事務所費支出	1,586	1,586	0	
人件費支出	9,725	7,910	1,815	
書籍代支出	220	215	5	
雑支出	265	165	100	
公租公課支出	70	70	0	
事業活動支出計	23,795	20,323	3,472	
事業活動収支差額	△ 1,164	△ 1,267	103	
II. 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	
2 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III. 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV. 予備費支出	30	30	0	
当期収支差額	△ 1,194	△ 1,297	103	
前期繰越収支差額	21,188	19,866	1,322	
次期繰越収支差額	19,994	18,569	1,425	

- (注) 1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 借入金限度額 0円
3. 債務負担額 なし

# 各 賞 の 表 彰

一般社団法人日本ゴム協会

## ●名誉会員推戴

一般社団法人日本ゴム協会定款第5条第2項・第3項および  
本会名誉会員推薦規定に基づき名誉会員に推戴する。

伊藤 眞義 氏

氏は副会長・理事・関東支部長などを歴任され、本会の  
発展に貢献された。これらの功績は多大である。

内山 吉隆 氏

氏は副会長・理事・東海支部長・トライボロジー研究分  
科会主査などを歴任され、本会の発展に貢献された。こ  
れらの功績は多大である。

## ●第36回日本ゴム協会賞

業績の名称：人とAIとの協奏によるデータ活用  
(HAICoLab) の研究開発

受 賞 者：横浜ゴム株式会社 小石 正隆 氏

## ●第62回ゴム技術功績賞

山口 幸一 氏

## ●第71回優秀論文賞

受賞論文：有限要素法シミュレーションによるSBR/IRゴ  
ムブレンドにおけるフィラー分配とポリマー  
相構造がヤング率に及ぼす影響に関する研究  
山本亮太氏・糸見健氏・窪内翔氏・  
森田淳氏・足立拓海氏・川井淳司氏・  
富永哲雄氏・Lingyun Lyu氏・堀内伸氏・  
森田裕史氏

## ●第34回オーエンスレーガー賞

研究題目：天然ゴムラテックスナノ粒子を応用した生体  
コンポジットに関する研究

受 賞 者：豊田工業大学 岡本 正巳 氏

## ●第79回ゴム技術進歩賞

研究課題：加硫エネルギー最小で圧縮永久ひずみの小さ  
いEPDM材料

受 賞 者：鬼怒川ゴム工業株式会社 原田 倫宏 氏

## ●第16回日本ゴム協会科学技術奨励賞

研究の名称：基板界面近傍の高分子ナノ構造解析

受 賞 者：名古屋工業大学大学院 山本 勝宏 氏

## ●第15回ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞

研究の名称：新規硫黄ポリマーゴム合成技術の確立と機  
能性材料の創製

受 賞 者：大阪大学大学院 小林裕一郎 氏  
・奨励賞

研究の名称：実環境で生じるゴムのオゾン劣化メカニズ  
ムの解明及び劣化評価法の国際標準化

受 賞 者：一般財団法人化学物質評価研究機構  
岩瀬 由佳 氏

研究の名称：重合誘起自己組織化によるゲル化過程の解  
明と材料開発

受 賞 者：名古屋大学大学院 高橋倫太郎 氏

# 第36回日本ゴム協会賞審査報告

日本ゴム協会賞委員会

委員長 網野 直也

日本ゴム協会賞は、社団法人日本ゴム協会創立60周年を記念して設立されたゴムならびにその周辺領域における科学、技術又はその産業分野の発展に寄与し、その業績が極めて顕著な本会会員に対して授与される名誉ある賞である。

日本ゴム協会賞受賞者選定規定に基づき日本ゴム協会誌に告示し、会員、本会各支部、関連する他学協会代表者への推薦依頼をした。推薦締切日の2023年11月30日までに1件の推薦が本賞選考委員会にあった。日本ゴム協会賞委員会を2024年2月22日に開催し、推薦者からの提出資料、被推薦者からの説明に基づいて、推薦理由、実績、ならびにゴム関連業界への貢献度などについて厳正な審査を行った。その結果、推薦された候補は受賞推薦候補に相応しいと委員会は判断した。選定規定に基づき、委員長を除く出席委員の無記名投票を行った結果、1件の推薦候補が選考された。

本選考委員会の審議結果が理事会に報告され、理事会は下記1件の推薦候補を第36回日本ゴム協会賞受賞者と決定した。

## (1) 受賞業績名：人とAIとの協奏によるデータ活用（HAICoLab）の研究開発

受賞者：小石 正隆（横浜ゴム株式会社）

受賞理由：ディープラーニングの登場以来、囲碁や顔認証など様々な分野でAIが利用されている。材料科学においてもAIを利用した材料探索（マテリアルズ・インフォマティクス）に関心が集まっている。しかし、データの無い未踏領域での発見はAIだけでは難しい上に、探索領域の設定がその成否を左右する。領域とルールが明確な囲碁と異なり、産業界の課題はそれらが不明確な場合が少なくない。そこで、小石氏らの研究グループでは、そのような状況においても人とAIとの協奏、すなわち、人が仮説を設定しデータを準備し、知識や経験を補う情報をAIで取得し、そこに人が解釈を加えるというサイクルを繰り返すことで未踏領域を切り開くアイデアを引き出して製品やプロセスを革新する仕組みを構築し、この取り組みにHAICoLabと名付けて実践を開始した。HAICoLabの狙いの中には、客観的な思考を妨げる固定観念や認知バイアスの排除も掲げている。小石氏は、HAICoLabに基づいてゴム及びタイヤ開発を支援するAIシステムを開発し、実際の製品開発に活用している。この取り組みは、多くの講演会などで紹介され、広く注目を集めている。HAICoLabはSociety5.0に示されている人間中心のAI活用を体現した好例であり、ゴム産業の発展に大きく貢献するだけでなく、日本の技術レベルの高さを示すものである。以上の成果は、ゴム産業の科学・技術の発展に大きく寄与する極めて顕著な業績であると考えられることから、本賞の受賞に十分値するものと認められた。

# 第62回ゴム技術功績賞審査報告

ゴム技術功績委員会  
委員長 松本 恭一

ゴム技術功績賞は日本ゴム協会創立35周年を記念し、ゴム技術有功賞として設立され、2020年に現在の名称に変更した賞である。本賞はゴム及びプラスチック工業に関する技術の向上に顕著な功績があり、日本ゴム協会及び日本ゴム工業会に貢献のあった本会会員に授与する賞で、副賞は精工化学株式会社から寄付のご支援を受けた基金によるものである。第62回ゴム技術功績賞受賞候補者推薦について、ゴム技術功績賞受賞者選定規定に基づき日本ゴム協会誌に告示し、推薦締切日の2023年11月30日までに1件の推薦が本賞選考委員会にあった。2024年2月22日に本委員会を開催し、本賞の趣旨の観点から討議を行い、十分な功績であることを確認した。受賞者選定規定に基づき審議の結果、下記1名の候補者を第62回ゴム技術功績賞候補者として全会一致で選定した。本委員会の審議結果を理事会に報告し、1名の方が受賞者として承認された。

受賞者 山口 幸一

山口幸一氏は、大学を修了後兵庫県立工業試験場に入所以来、ゴム技術に関する研究開発、企業との共同研究、技術相談・指導、人材養成に努め、ゴム技術の中心地である米国オハイオ州立アクロン大学留学（客員研究員）、EUへのゴム関連技術調査（ウレタン、接着剤）、日本ゴム協会関西支部幹事、副支部長、支部長、さらに本部理事、副会長、会長に就任され活動されました。定年退職後もゴム企業、関連企業で技術顧問として技術指導、人材養成を行い、また関西ゴム技術研修所で講師、運営委員、副所長、所長、名誉所長を務め、ゴム技術者の育成に尽力してきました。特筆すべき功績としては、ゴム産業では共有が難しい加硫成形の生産技術を複数のゴム企業と共に産官学問の共同研究として実施されました。自ら見出した金型汚染対策技術の実用化を図るため、NEDO（新エネルギー・産業総合開発機構）の国庫補助共同研究「ゴム・プラスチック用高品位・低コスト金型の研究」をゴム業界初で取り組んでこられました。ゴム製品の形状および特性はゴムの加硫工程で決まると言われており、ゴム製品の多くはゴム金型が使用されているが、各企業固有技術に留まり、ゴム金型に関する専門書が無い状態でした。新しくまた企業固有の技術分野であることから、日本ゴム協会に金型研究分科会を2001年に設置、主査として活動し、自らも著者の一員としてとして原稿を書き、編集委員長として成書（専門書）「ゴム・エラストマー用金型技術」など4冊を発刊しました。と共に金型研究分科会のゴム技術シンポジウムを東京、大阪、名古屋、久留米で開催し、ゴム金型技術の普及啓蒙を図ってこられました。ゴム産業における「ゴム金型技術」は、従来企業内でのみ蓄積されており一般には共有化されない技術分野であった。専門書は、技術を関係者間（使用者側と製造者側）で共有することが可能になり技術の継承・伝承、熟練者から初心者までが活用できるという領域までに一般化されたことは、ゴム産業界において大変すばらしい功績であります。なお、現在もゴム金型技術およびゴム加工技術に付いて研究を継続されています。

これらの業績は、ゴム技術功績賞にふさわしいと認められました。

# 第71回優秀論文賞審査報告

優秀論文賞推薦委員会  
委員長 渡邊 順司

日本ゴム協会創立25周年を記念し、ゴム科学および技術の発展ならびに日本ゴム協会誌の充実を図るために設定された優秀論文賞は、過去3年間に日本ゴム協会誌に発表された論文の中から、学術または技術への寄与が認められる論文を選び、その著者に対して授与します。2020年10月号（第93巻 第10号）から2023年9月号（第96巻 第9号）までの3年間に掲載された既受賞論文2件を除く17論文を対象とし、優秀論文賞推薦委員会委員に2件の優秀論文の推薦を依頼しました。その結果、2名以上の委員から推薦があった上位6件の論文について、委員会委員による2件以内連記による無記名投票を行い、上位3件の論文を第一次受賞候補論文として選定しました。この3件の論文について、当職が推薦理由書を作成し、2024年1月30日に2023年度優秀論文賞推薦委員会を開催し、第71回優秀論文賞受賞候補論文の選定について慎重に審議しました。その結果、下記の論文1件を受賞候補論文として決定するに至りました。同日開催された理事会において、2023年度優秀論文賞推薦委員会での選考結果を報告し、審議を経て承認されました。なお、本賞の賞金は大内新興化学工業株式会社のご支援によるものであり、厚く御礼申し上げます。

「有限要素法シミュレーションによるSBR/IRゴムブレンドにおけるフィラー分配とポリマー相構造がヤング率に及ぼす影響に関する研究」日本ゴム協会誌 第95巻 第4号 111-117頁（2022年）

JSR 株式会社・先端素材高速開発技術研究組合

山本亮太・糸見 健・窪内 翔・森田 淳・足立拓海

JSR 株式会社

川井淳司・富永哲雄

国立研究開発法人産業技術総合研究所

Lingyun Lyu・堀内 伸・森田裕史

ブレンドポリマーの相分離構造およびポリマー中でのフィラーの分散性が物性に与える影響について、有限要素法（FEM）によるシミュレーションから提示できることを示した論文である。SBRとIRのブレンド比を変えた試料において、フィラーのブレンド比と弾性率に関する結果を集積し、FEMシミュレーションから構造と物性の相関について検討した。その結果、硬い材料であるSBR相がパーコレートする相分離構造の場合に弾性率の上昇が認められ、相分離構造に強く依存することを明らかにし、物性発現のメカニズムをFEMシミュレーションによって推定可能であることを示した。以上より、本研究論文は物性発現のメカニズムをFEMシミュレーションによって推定できることを明らかにしており、ゴム技術の発展に寄与すると考えられ、優秀論文賞に相応しいと判断された。

# 第34回オーエンスレーガー賞審査報告

日本ゴム協会オーエンスレーガー賞委員会  
委員長 原野 健一

オーエンスレーガー賞は、ゴムに関連する学術又は工業に貢献する貴重な積年の研究、又は顕著な累積的な業績のあった個人に授与されるもので、授与数も隔年に1件以内であり、国際的にも評価される賞として位置づけられている。なお、本賞は日本でもゴム技術を指導したことがあり、米国ゴム工業の権威者である故オーエンスレーガー (George Oenslager) 氏を記念するために、ご遺族が1957年に日本ゴム協会を通じて日本化学会に寄付した2,500ドルを基金として創設された。当初は日本化学会と日本ゴム協会共同の賞として授与されたが、第21回(1998年)からは、横浜ゴム株式会社殿からの資金面での支援を受けて、日本ゴム協会が単独で選考及び贈呈を行って現在に至っている。

第34回オーエンスレーガー賞には、期日までに1件の候補者の推薦があった。それを受けて、2024年2月22日に本委員会を開催した。候補者自身の研究業績に関して説明を受けた後、オーエンスレーガー賞選考規程に基づき慎重な審議を行った結果、下記の候補者を第34回オーエンスレーガー賞受賞候補者として選定し、理事会にて承認された。

受賞者：岡本 正巳氏 (豊田工業大学)

研究の名称：天然ゴムラテックスナノ粒子を応用した生体コンポジットに関する研究

受賞理由：

軟骨の再生は重要かつ緊急の課題であり、臨床的にもその必要性は極めて高い。岡本 正巳氏は、高分子ナノコンポジット研究を基盤とした「生体コンポジット」という新しい研究領域の一つとして天然ゴムラテックス (NRL) ナノ粒子を用いた軟骨再生に挑戦している。NRL ナノ粒子は薬理的用途としての可能性が高いものの、その細胞毒性に関しては十分に理解されてこなかったが、低濃度の NRL 粒子が正常幹細胞への毒性がなく、他方、癌細胞には細胞毒性を発現させることを見出した。さらには、原子間力顕微鏡による NRL 粒子を導入した正常幹細胞の細胞集塊における弾性率マッピング測定を通じ、力学的強度に優れる新規な硝子軟骨組織の創成にも成功している。これらの研究成果は学術的に重要であり、国内外で高く評価されている。

以上のように、基盤となる専門分野を拡張し、様々な細胞機能を調節しうる新規生物活性物質としてのNRLナノ粒子の研究は、本委員会において高く評価され、オーエンスレーガー賞を受賞するにふさわしいと本委員会にて判断し、同賞の受賞候補者として理事会に推薦することを決定した。

# 第79回ゴム技術進歩賞審査報告

一般社団法人日本ゴム協会  
ゴム技術進歩賞委員会  
委員長 渡邊 智子

ゴム技術進歩賞は、日本ゴム協会創立15周年（1943年）を記念して、村岡ゴム工業株式会社のご厚意により設けられたものであり、長年にわたりゴム技術の向上に貢献してきた名誉ある賞である。

2023年度は進歩賞の課題として「加硫エネルギー最小で圧縮永久ひずみの小さいEPDM材料」を設定し、会員各位からの応募を募った。期限までに日本ゴム協会正会員から4件の応募をいただき、委員会審議を経て下記の受賞者を決定した。

第79回ゴム技術進歩賞受賞者 鬼怒川ゴム工業株式会社 原田 倫宏

審査経緯は下記に示す通りである。

## 1. 研究課題の設定

2023年7月3日に開催されたゴム技術進歩賞委員会において、「加硫エネルギー最小で圧縮永久ひずみの小さいEPDM材料」を2023年度の課題とすることに決定した。

制限条件は、使用する原料ゴムはEPDMで、配合は純ゴム配合とする。加硫は一次加硫のみとし、加硫時間は20分以内とした。

## 測定条件・評価方法

- ① 圧縮永久ひずみ試験：JIS K6262：2013による。試験時間と温度はそれぞれ72時間、100±1℃とする。
- ② 加硫時のエネルギー量の見積り：加硫時のエネルギーを提出された加硫温度と時間から見積りするには、ゴムに起因する加硫時の熱エネルギー、加硫設備の温度保持の熱エネルギーなどを考慮して、計算式や定数を規定する必要があるため、今回は、有松利雄 日本ゴム協会誌 **1986**, 59, 129. のECU値（150℃ 1分を等価加硫量1として算出したパラメータ）を用いて以下の式で算出される見掛けの加硫量で比較する。

提出された加硫温度のECU値×加硫時間（分）＝見掛けの加硫量

各温度におけるECU値					
温度（℃）	ECU値	温度（℃）	ECU値	温度（℃）	ECU値
100	0.041	140	0.562	160	1.732
110	0.083	145	0.752	170	2.926
120	0.163	150	1.000	180	4.829
130	0.307	155	1.320	190	7.801

有松利雄 日本ゴム協会誌 **1986**, 59, 129. 表6より抜粋

- ③ ポリマー種確認：赤外分光分析、熱分解ガスクロマトグラフ分析によりEPDMであることを確認する。
- ④ 提出試験片の形状：直径29.0±0.5mm、厚さ12.5±0.5mmの円柱4個（一体成形であること）
- ⑤ 審査判定条件：1) 圧縮永久ひずみが小さいものから順位付け、及び見掛けの加硫量が小さいものから順位付けする。  
2) 圧縮永久ひずみと見掛けの加硫量の順位の合計が最も小さいものを1位とする。  
3) 順位の合計が同値の場合は、圧縮永久ひずみが小さいものを1位とする。

応募試料の評価機関：応募試料のポリマー種確認，圧縮永久ひずみ試験は一般財団法人化学物質評価研究機構に依頼する。

以上を日本ゴム協会誌第96巻9号から第97巻1号に会告し，2024年1月31日を締切りとして募集した。

## 2. 提出試料の評価

提出された試料は一般財団法人化学物質評価研究機構にポリマー種確認，圧縮永久ひずみ試験を依頼した。2024年2月22日にオンライン委員会を行い，応募者からの提出内容と一般財団法人化学物質評価研究機構での測定結果を併せて慎重に審議した。

## 3. 受賞者の決定

応募者から提出された配合レシピ，加硫温度と加硫時間から算出された見掛けの加硫量，一般財団法人化学物質評価研究機構でのポリマー種確認，圧縮永久ひずみ試験をもとにした順位付けの結果から，原田氏を受賞候補者として，理事会に提案することを決定した。

# 第16回日本ゴム協会科学技術奨励賞審査報告

日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会  
委員（日本ゴム協会会長）網野 直也

日本ゴム協会科学技術奨励賞は、本会創立50周年を記念して設定された日本ゴム協会科学技術奨励金を見直し、2008年よりゴムおよびプラスチックに関連する科学および技術の進歩発展に寄与する研究または調査を行っている研究者（本会会員）に毎年1件、副賞20万円を授与するものである。

第16回日本ゴム協会科学技術奨励賞の募集要項を2023年の日本ゴム協会誌9月号から11月号に会告として発表し、11月30日までに1件の応募（推薦）があった。

2024年2月22日に、2023年度第1回日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会を開催し、第16回日本ゴム協会科学技術奨励賞受賞候補者選定について慎重に審議した。その結果、下記の研究題目で推薦された候補者1名を第16回日本ゴム協会科学技術奨励賞受賞候補者候補者とし、理事会にて承認された。

受賞者：山本 勝宏 氏（名古屋工業大）

研究の名称：基板界面近傍の高分子ナノ構造解析

受賞理由：

ゴム・エラストマー材料をはじめとする高分子材料のナノコンポジットにおいて、ナノフィラー（ナノ粒子）と高分子界面との相互作用や界面近傍の高分子鎖の構造は、材料物性に大きく寄与する。界面での高分子鎖の吸着挙動、高分子鎖のコンフォメーション、その界面における低分子の吸着などが物性理解の鍵を握るとして、その構造を観察するために中性子反射率法を利用し、特殊な構造を明らかにした。受賞者は一般的な高分子としての結晶性ポリプロピレン、非晶性ポリメタクリル酸メチルを用いて、高分子の構造や水分子の吸着挙動、その抑制について基礎的な研究を進めてきた。一連の研究成果は、多くのゴム材料に用いられる高分子にも適応でき、界面近傍の高分子鎖の構造と材料全体に及ぼす物性の相関を理解するうえで、重要な知見を与えるものである。

以上より、本業績は、ゴム・エラストマーの構造解析・物性評価に関連する科学技術発展に大きく貢献するものと認められる。これらの成果は、本奨励賞の趣旨に合致するものと考え、日本ゴム協会科学技術奨励賞を授与することを決定した。

# 第15回ブリヂストンソフトマテリアル フロンティア賞審査報告

日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会

委員長 山本 勝宏

ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞は、本会創立80周年にあたり、株式会社ブリヂストンから若手研究者の奨励を目的とする顕彰制度の申し出により新設されたものであり、日本ゴム協会科学技術奨励賞の一つとして、ゴム技術・ゴム産業のさらなる発展を期し、ゴム研究者の拡大と育成を図ることを目的として、ゴムおよび将来ゴム技術・ゴム産業に貢献しうる関連分野での先端的研究を奨励し、「ゴムを極める科学技術の構築」「先端的研究のゴム技術への応用展開」「ゴム産業に関係する地球環境の保全」「ゴム産業を通じた社会への貢献」を図る研究を行っている若手研究者に毎年1件、副賞50万円を授与するものであり、これとは別に奨励賞を毎年2件以内、副賞各25万円を授与するものである。

ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞の募集要項を2023年の日本ゴム協会誌9月号から11月号に会告として発表し、11月30日までに3件の応募（推薦）があった。

2024年2月22日に2023年度第1回日本ゴム協会科学技術奨励賞委員会を開催し、第15回ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞受賞候補者選定について慎重に審議した。その結果、下記の研究題目で推薦された候補者1名をブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞受賞候補者、他2名を同奨励賞として選定し、理事会で承認された。

## フロンティア賞

受賞者：小林 裕一郎 氏（大阪大学）

研究の名称：新規硫黄ポリマーゴム合成技術の確立と機能性材料の創製

受賞理由：

受賞者は、新規硫黄ポリマーとして超分子硫黄ポリマー、逐次重合硫黄ポリマーという独自性のある全く新たな高分子の開発をすすめて、新しい分野を開拓した。新規な超分子硫黄ポリマーは、既存よりも安価で、科学的にも安定で、且つリサイクル性を有する超分子ポリマーあり、硫黄含有ポリマー開発・応用に向けた発展に貢献するものである。逐次重合系では、エポキシ硬化物系の合成を世界に先駆けて成功し、室温合成が可能な反応機構を開発し、二酸化炭素や有害物質である硫化水素の発生を極めて抑制した安全且つエコな合成手法を開発した。開発した硫黄ポリマー（ゴムを含む）は、その原料が廃棄物からの硫黄であること、室温合成が可能であることであり、合成時の環境負荷に対する問題を克服する手法である。合成手法はSDGsにも対応し、社会実装の可能性を上げた。一連の研究は、今後の環境調和型機能性ゴム材料創製の可能性を示し、ゴム産業にも大きく貢献することを期待させる成果である。

本研究成果は、先鋭的研究であると考えられるため、フロンティア賞に決定した。

## 奨励賞

受賞者：岩瀬 由佳 氏（一般財団法人化学物質評価研究機構）

研究の名称：実環境で生じるゴムのオゾン劣化メカニズムの解明及び劣化評価法の国際標準化

受賞者：高橋 倫太郎 氏（名古屋大学）

研究の名称：重合誘起自己組織化によるゲル化過程の解明と材料開発